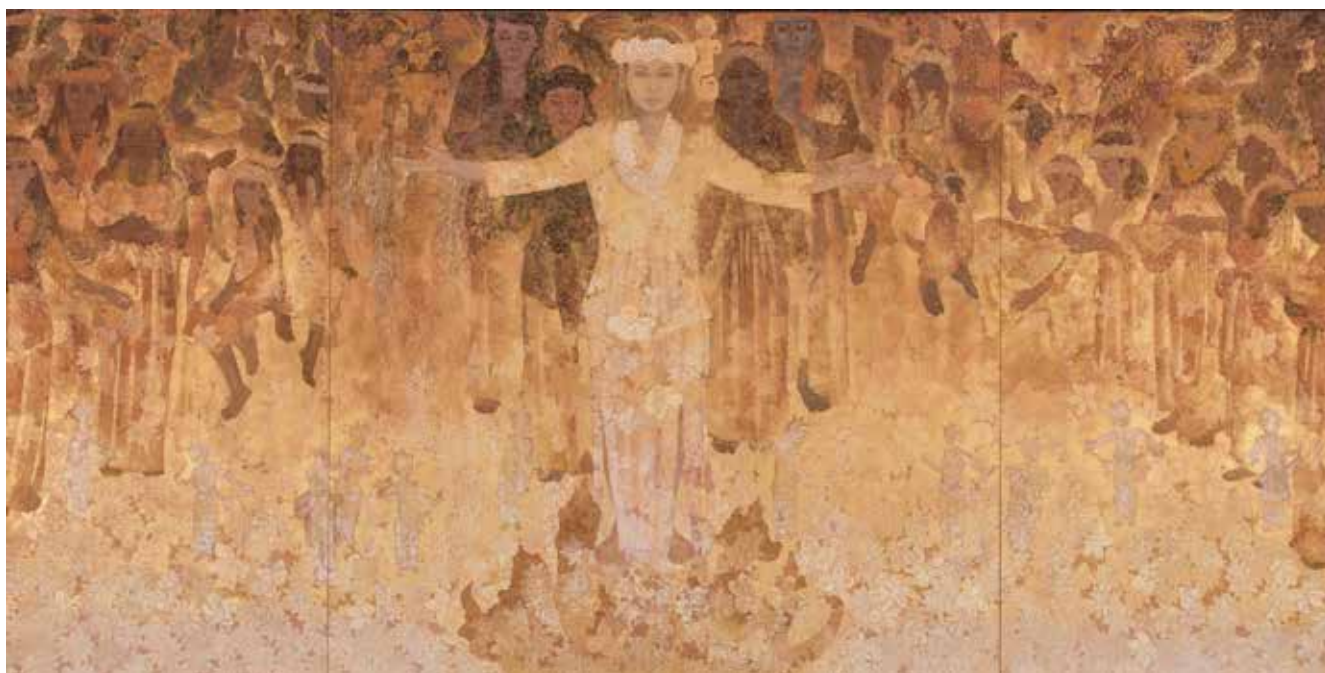


マルセン



CONTENTS

ごあいさつ	2
財団法人の概要	3
役員・評議員名簿	6
令和4年度事業報告	7

I 公益事業

第1章 助成事業関係

1 スポーツ活動に対する助成	7
2 文化活動に対する助成	9

第2章 表彰事業関係

1 マルセン栄誉大賞	13
2 マルセン大賞	13
3 マルセン特別賞	14
4 マルセン賞	14

贈呈式	15
-----	----

受賞者からのひとこと

1 マルセン栄誉大賞	井手 康人	16
2 マルセンスポーツ大賞	小松原 美里・尊	17
	佐藤 友祈	18
	原田 のどか	19
	山本 由伸	20
3 マルセンスポーツ特別賞	井原高等学校男子新体操部	21
	梶谷 翼	22
4 マルセンスポーツ賞	創志学園高等学校女子柔道部	23
	中島 未莉	24
	三宅 星南	25
5 マルセン文化賞	木口 雄人	26
	山崎 樹一郎	27

ホットコーナー 「ウィズコロナ」の冬、高校アスリート躍動	28
岡山芸術交流と瀬戸内国際芸術祭	30

第3章 イベントの開催

1 スポーツ	32
2 文 化	32

第4章 広報啓発育成事業

1 啓発育成事業	33
2 協賛・後援事業	35

II 財団の活動

法人管理

1 会議等	36
-------	----

お知らせ

マルセンスポーツ・文化活動助成事業について	38
助成事業申請書（記載例）	39

資 料

事業の記録 助成 表彰 イベント・後援等	40
令和3年度収支計算書（損益計算ベース）	53
同 貸借対照表	54

表紙写真／井手康人氏（写真は受賞者提供）

裏表紙写真／小松原美里氏・尊氏／佐藤友祈氏／原田のどか氏／山本由伸氏（写真は各受賞者提供）



ごあいさつ

当財団は、岡山県のスポーツ及び文化の振興発展と県民の皆さまが健康で豊かな心をもって生活できる環境・社会の実現を願い平成16年2月に財団法人を設立いたしました。その後、公益法人制度改革三法施行に伴い平成25年4月公益財団法人へ移行し、岡山県を元気にとの願いから活動を続け19年目を迎えることができました。これも運営にあたりご協力をいただきました皆さま方のおかげと厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せず全県を対象とする主催事業を実施することは困難でしたが、財団の公共的役割から可能な限り活動団体に対する広報啓発活動等の充実を図ってまいりました。特にコロナ禍においても活動を続けられた団体への助成や好成績を収められた方々の表彰式及び活動助成金贈呈式を開催することができました。栄誉大賞にインドネシア・バリ島で長年取材を重ね「神々の視座」で内閣総理大臣賞を受賞され、教育文化の発展にも尽力されている井手康人氏に、また、スポーツ大賞には東京2020パラリンピック大会車いす陸上競技2冠を達成した佐藤友祈選手、オリンピック大会ソフトボール競技外野手の要として金メダル獲得に貢献した原田のどか選手、野球競技侍ジャパンのエースとして金メダル獲得に貢献した山本由伸選手、そして北京冬季オリンピックフィギュアスケート団体競技初のメダル獲得に貢献した小松原美里・尊選手の方々をはじめとしてスポーツ・文化活動において素晴らしい成績を収めた10名(組)2団体の皆様の功績を称えました。併せて、コロナ対策のため順延実施された団体を含め25団体の方々に助成金を贈呈することができました。

一方、イベント関係ではスポーツ・文化活動に協賛事業やチケットプレゼントを実施してまいりました。

お力添えをいただきました皆さまに感謝いたしますとともに、今後も県民の皆さまのお役にたてますよう活動してまいりたいと考えております。

今年度の活動記録といたしまして、「マルセン」第19号発刊の運びとなりました。どうぞご高覧いただければ幸いに存じます。発刊にあたりご協力を賜りました関係各位に心より感謝申し上げます。

今後とも地域の皆様のスポーツ・文化活動に貢献できますよう、より一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年3月

公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
理事長

千原 多美子

財団法人の概要

I 概 要

マルセンスポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで岡山県教育委員会の許可を得て財団法人として設立されました。その後、国における公益法人制度の抜本改革として制定された公益法人制度改革に係る3法が平成18年6月2日に公布。平成20年12月1日施行。平成25年4月1日、公益財団法人として新たに歩み始めました。

当財団は、定款第3条に「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現に寄与することを目的とする。」と規定し、その目的達成のため、次の5項目

- 1 スポーツ・文化活動に対する助成
- 2 スポーツ・文化活動に対する表彰
- 3 スポーツ・文化に関するイベントの開催
- 4 スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
- 5 その他目的を達成するために必要な事業 を定め活動しております。

II 沿 革 (概要)

平成 16 年 2 月 20 日	財団設立
平成 16 年 2 月 27 日	事務所を岡山市富町二丁目 4 番 4 号に設置
平成 16 年 3 月 26 日	初代理事長に千原多美子就任
平成 16 年 12 月 14 日	第 1 回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成 16 年 12 月 23 日	第 1 回スポーツイベント協賛（第 23 回山陽女子ロードレース大会）
平成 17 年 2 月 28 日	晴れの国おかやま国体へ助成
平成 17 年 3 月 10 日	広報誌「マルセン創刊号」発刊（表紙 高橋秀氏「InAria『宙』」）
平成 17 年 3 月 11 日	第 1 回広報啓発育成事業（チケットプレゼント）実施 （岡山フィルハーモニック管弦楽団第 26 回定期演奏会）
～ 以下 抜粋 ～	
平成 18 年 1 月 13 日	財団のロゴマークの選考・決定
平成 18 年 4 月 1 日	公益法人指導監督担当課の変更により岡山県教育委員会から岡山県知事所管となる
平成 18 年 8 月 4 日	コミュニティライブラリーの設置（岡山市駅前・岡山会館 1 階） 「晴れの国おかやま国体写真展 あ感動をもう一度！」 表彰者紹介コーナー・映像コーナーの設置
平成 18 年 11 月 3 日	第 1 回文化イベント開催（川島 基ピアノリサイタル）
平成 19 年 11 月 2 日	第 19 回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア 2007 岡山」 「生涯学習見本市」に出展
平成 20 年 3 月 8 日	第 1 回スポーツイベント開催（少年サッカー教室（岡山湯郷ベル））
平成 20 年 12 月 1 日	新公益法人制度施行により「特例民法法人」となる
平成 21 年 7 月 17 日	事務所を岡山市北区駅前町一丁目 2 番 4 号へ移転
平成 22 年 8 月 12 日	新田佳浩氏（スポーツ大賞）表敬訪問
平成 23 年 7 月 8 日	新公益法人制度移行に伴う「最初の評議員の選任方法」の認可
平成 23 年 7 月 26 日	RSK ラジオ「おかやま元気応援団」放送開始（活動助成団体による活動状況）

令和 2 年 10 月 15 日	第 17 回マルセン賞表彰式挙行（規模縮小実施）
令和 3 年 1 月 7 日	チケットプレゼント（天神日舞）20 名 能楽堂ホール tenjin9（山陽放送新社屋） 二度目の緊急事態宣言発出（東京、埼玉、千葉、神奈川 1 都県）
令和 3 年 4 月 25 日	三度目の緊急事態宣言発出（東京、大阪、兵庫、京都）
令和 3 年 5 月 16 日	三度目の緊急事態宣言に岡山県追加（～6 月 20 日まで）
令和 3 年 8 月 20 日	まん延防止等重点措置を実施すべき期間（令和 3 年 8 月 20 日から 8 月 26 日）に 岡山県（岡山市、倉敷市）が指定された。
令和 3 年 8 月 27 日	四度目の緊急事態宣言に岡山県追加 ～9 月 12 日まで
令和 3 年 9 月 2 日	チケットプレゼント（第 72 回岡山県美術展覧会）70 名 岡山会場（岡山県立美術館他）
令和 3 年 10 月 28 日	チケットプレゼント（第 62 回岡山日本舞踊協会公演）30 名 岡山市民会館
令和 3 年 11 月 15 日	令和 4 年度活動助成金応募受付開始（令和 4 年 1 月 20 日まで）
令和 3 年 12 月 2 日	チケットプレゼント（オペラ 森は生きている）20 名 岡山市立市民文化ホール
令和 4 年 1 月 11 日	第 18 回マルセンスポーツ・文化賞表彰式挙行（規模縮小実施）
令和 4 年 1 月 25 日	新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に関する公示の全部が変更され、 まん延防止等重点措置を実施すべき期間（令和 4 年 1 月 27 日から 2 月 20 日）に 岡山県が指定された。
令和 4 年 2 月 7 日	臨時第 1 回評議員会（里見俊樹評議員選任の件）
令和 4 年 2 月 18 日	新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置を実施すべき期間が令和 4 年 3 月 6 日まで延長された。
～ 令和 4 年度 ～	
令和 4 年 4 月 7 日	チケットプレゼント（THE ドラえもん展 OKAYAMA2022）30 名 岡山県立美術館
令和 4 年 4 月 11 日	藤田士義評議員一身上の都合により辞任
令和 4 年 4 月 21 日	チケットプレゼント（森野美咲・木口雄人 ブラームス国際コンクール優勝記念リサイタル）30 名 ルネスホール
令和 4 年 4 月 25 日	臨時第 1 回理事会（中村忠彦選考委員選任）
令和 4 年 5 月 21 日	チケットプレゼント（生誕 100 周年記念高木聖鶴展）100 名 岡山県立美術館
令和 4 年 5 月 24 日	定時第 1 回選考委員会開催（マルセン賞選考）
令和 4 年 5 月 31 日	令和 3 年度監査実施
令和 4 年 6 月 9 日	定時第 1 回理事会開催（事業報告及び収支決算承認）
令和 4 年 6 月 9 日	臨時第 1 回評議員会開催（事業報告及び収支決算説明）
令和 4 年 6 月 16 日	チケットプレゼント（第 77 回春の院展倉敷展）30 名 倉敷市立美術館
令和 4 年 6 月 27 日	定時評議員会（書面）（事業報告及び収支決算承認）
令和 4 年 7 月 7 日	チケットプレゼント（木村善明バスバリトンリサイタル）30 名 ルネスホール
令和 4 年 7 月 27 日	チケットプレゼント（2022 女子バレーボール世界選手権壮行試合日本代表紅白戦ミズノマッチ in 岡山）8/13-14 各 15 名（30 名）ジップアリーナ岡山
令和 4 年 8 月 4 日	チケットプレゼント（木下大サーカス岡山公演自由席入場券）30 枚 岡山ドーム東特設会場
令和 4 年 8 月 11 日	チケットプレゼント（大原美術館入場券）170 組 本館・工芸館他
令和 4 年 8 月 15 日	臨時第 2 回理事会（理事選任に伴う臨時第 2 回評議員会開催の件）
令和 4 年 8 月 18 日	チケットプレゼント（第 73 回岡山県美術展覧会入場券）50 枚 岡山県立美術館他
令和 4 年 8 月 25 日	臨時第 2 回評議員会（佐藤兼郎理事選任の件）
令和 4 年 8 月 28 日	チケットプレゼント（山陽新聞レディースカップゴルフ入場券 9/16-18 日）各日 100 名 東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ
令和 4 年 9 月 8 日	佐藤兼郎氏（岡山県企業と大学との共同研究センター長）理事就任

令和 4 年 9 月 29 日	チケットプレゼント（神々の視座 - 井手康人 -）100 名 瀬戸内市立美術館
令和 4 年 10 月 13 日	チケットプレゼント（ミュージカル クリスマス・キャロット）30 名 倉敷市芸文館ホール
令和 4 年 10 月 27 日	チケットプレゼント（映画観賞券「やまぶき」）50 名 シネマクレール丸の内
令和 4 年 11 月 6 日	チケットプレゼント（V1 リーグ女子 岡山シーガルズ VS トヨタ車体）30 名 ジップアリーナ岡山
令和 4 年 11 月 10 日	チケットプレゼント（ベートーベン第九演奏会 2022）30 名 岡山シンフォニーホール
令和 4 年 11 月 15 日	令和 5 年度活動助成金応募受付開始（令和 5 年 1 月 20 日まで）
令和 4 年 12 月 8 日	チケットプレゼント（第 107 回日本美術院展覧会入場券）150 名 岡山天満屋葦川会館
令和 4 年 12 月 14 日	第 19 回マルセンススポーツ・文化賞表彰式 スポーツ・文化活動助成金贈呈式挙行 ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス
令和 4 年 12 月 15 日	チケットプレゼント（岡山フィルハーモニック管弦楽団ニューイヤーコンサート）30 名 岡山シンフォニーホール
令和 4 年 12 月 21 日	チケットプレゼント（V1 リーグ女子 岡山シーガルズ VS 東レアローズ）30 名 ジップアリーナ岡山
令和 5 年 2 月 7 日	定時第 2 回選考委員会開催（令和 5 年度活動助成事業選考等）
令和 5 年 2 月 9 日	チケットプレゼント（The MOST MUSIC FESTIVAL2023 GALA CONCERT） 30 名 岡山シンフォニーホール
令和 5 年 2 月 16 日	チケットプレゼント（劇団四季ミュージカル「人間になりたかった猫」）30 名 岡山市民会館
令和 5 年 2 月 17 日	臨時第 3 回理事会（書面）（臨時第 3 回評議員会開催の件）
令和 5 年 3 月 20 日	定時第 2 回理事会・臨時第 3 回評議員会開催（次年度事業計画及び予算承認）
令和 5 年 3 月 吉日	広報誌「マルセン」19 号発行

役員・評議員名簿

令和5年3月31日現在

理事

定数7名

役職名	氏名	所属・役職名
理事長	千原 多美子	(株)成通 取締役
常務理事	千原 秀 則	(株)センインターナショナル 代表取締役社長
理 事	加 計 孝太郎	(学)加計学園 理事長
〃	川 崎 誠 治	(学)川崎学園 理事長
〃	越 宗 孝 昌	(株)山陽新聞社 相談役
〃	佐 藤 兼 郎	岡山県企業と大学との共同研究センター長(9/8就任)
〃	吉 岡 洋 介	(公財)ワコースポーツ・文化振興財団 理事長

役職別 五十音順 敬称略

監事

定数2名

役職名	氏名	所属・役職名
監 事	衣笠 和孜	岡山療護センター センター長
〃	小林 彬二	元岡山県美作県民局長(現岡山放送特別参与)

五十音順 敬称略

評議員

定数9名

役職名	氏名	所属・役職名
評 議 員	石 井 正 人	岡山ネットワーク(株) 代表取締役社長
〃	里 見 俊 樹	RSK山陽放送(株) 代表取締役社長
〃	塩 飽 哲 文	岡山エフエム放送(株) 代表取締役社長
〃	千 原 行 喜	成通グループ 代表
〃	土 井 雅 人	テレビせとうち(株) 代表取締役社長
〃	中 川 弘 之	西日本放送(株) 岡山本社中国総支社 支社長
〃	中 静 敬一郎	岡山放送(株) 代表取締役社長
〃	平 松 掟	平松掟法律事務所(元日本弁護士連合会副会長)
〃	藤 田 土 義	(株)成通 相談役(4/11退任)
〃	三 木 栄	(株)瀬戸内海放送 取締役執行役員岡山本社代表

五十音順 敬称略

顧問

現員3名

役職名	氏名	所属・役職名
顧 問	伊 東 香 織	倉敷市長
〃	大 森 雅 夫	岡山市長
〃	田 中 建 治	前財団事務局長

五十音順 敬称略



令和4年度 事業報告

(I)公益事業

第1章 助成事業関係

岡山県内において、スポーツ・文化の振興及び発展に寄与するため下記の諸事業に助成を行いました。

1 スポーツ活動に対する助成（応募数 / 7 件 採用件数 / 7 件・延期 6 件内中止 2 件）実施 11 件

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
1	岡山オープンバドミントン大会実行委員会	第19回岡山オープンバドミントン大会女子	平成17年開催岡山国体開催後のジュニア層の選手強化を継続的に実施するための一環として、当時の全国高体連バドミントン専門部副部長の提案(専門部部長の協力)で岡山県高体連バドミントン専門部一部の委員を中心に組織された。その後、大会の規模等を考慮に岡山市バドミントン協会が組織の運営に参画した。全国大会に準ずる大会のため、毎年8か月程度の準備期間を経て3日間(3月29日～31日)の大会を運営しています。 令和5年3月29日(水)～31日(金)の3日間、岡山市総合文化体育館(22コート)と六番川水の公園体育館(8コート)の2会場の30コートを確保して大会を運営いたします。(参考:2016岡山インターハイでは男女合わせて34コート使用。女子で考えると16コート) 現在開催要項を該当校(各都府県内ベスト4程度の高校)に発送し受付を始めております。 新型コロナウイルス蔓延以前に開催した大会において、女子は15府県51校79チームの参加があり、A級52チーム・B級27チームに分けて、実質2.5日間の日程で全国大会に準ずる規模の大会を実施いたしました。 助成をいただいたおかげで、本年の大会も例年程度の参加数を目安に、主催者側としては慌たたく準備をしています。 しかし、生徒派遣規定が各都府県や学校ごとに異なるため、参加校が決定する3月上旬にならないと大会の規模が判明しない点や、新型コロナウイルス感染症への対応準備期間が非常に少ないのが大きな課題となりそうです。 最後に色々と援助・支援をいただいた貴財団などに感謝しながら、お互いの競技力・技術力・体力・精神力などの更なる飛躍を目指し、来る全国高校総体(インターハイ)に向けての大会が開催される出来るよう委員会として準備をすすめてまいる所存です。
2	一般財団法人岡山市スポーツ協会	第80回岡山市民体育大会	本大会は、毎年10月10日のスポーツの日(旧 体育の日)に合わせて実施している事業で、コロナ禍ということもあり、3年振りの開催となりました。本大会のメインイベントである学区対抗トラック&フィールド競技は参加者の安全に配慮し残念ながら中止となりましたが、各種目については、感染症対策を講じ実施することができました。また、12種目の開催を予定していましたが、前日降雨の影響でグラウンド状態不良のためゲートボール大会が中止となり、計11種目の開催となりました。例年と比べ、各種目の参加者は減少しているものの、全種目合わせて計1,810名の参加がありました。 助成を受けての活動としては、各種目のトロフィーや盾・メダルの賞品費用に活用しました。出場人数が多い種目では用意する賞品も多く、選定に苦慮しましたが、参加者の方がもらって喜ぶもの、記念として永く残るものという観点から賞品を選びました。各種目のニーズに応えながら、市民体育大会に相応しい賞品を選定することができたと考えております。実際に受け取られた方々からも好評を博し、デザイン面で好意的な声を多数いただいております。今後も、参加者のモチベーションになるような賞品選定を心がけていきたいです。 コロナ禍ということもあり、各競技で参加者が例年と比べ軒並み減少しています。どのように参加者の方の健康チェックをするのか、管理方法、参加基準などガイドラインに準じた方法を取っていく必要があると感じました。次回大会以降も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられると思いますが、状況に応じた対策を講じ、参加者が安心して楽しむことができる大会を目指していきたいと考えています。
3	岡山商科大学附属高等学校剣道部	第4回井尻杯中学校剣道大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止
4	岡山ロバング	15歳以下のバスケットボールクラブ	当会は、平成30年11月に設立した女子小中学生対象のバスケットボールクラブです。単一地域ではなく、岡山市、瀬戸内市、備前市から選手が集い、週3～4回の活動をしています。活動内容は夜間練習を中心に休日には練習試合や岡山県内外への遠征、公式戦などとなります。競技で使用するタイマー(モルテン製デジタイマ)を購入させて頂きました。中学生バスケットボールは1試合32分間で争われます。バスケットボールは「時間」と「ルール」の関係性が深く、時には1秒で勝敗が覆ることのあるスポーツです。選手の競技力向上を促す上で、「時間を知ること」と「時間を管理出来る」ことは重要なキーワードとなります。選手がより成長出来るよう、ハード面(活動場所や備品)、ソフト面(審判、栄養面などのサポートスタッフ)を拡大したいと考えております。また、怪我をしない身体、リズムカルに身体を動かせることなど、選手が競技を通じて、より効果的に身体を動かせるような指導、取り組みを推進したいと考えております。

5	金小ソフトボール スポーツ少年団	第16回金小杯ソフト ボール交 歓 大会	当団は、2007年設立の団員数12人で技術の向上はもちろん、礼儀やチームワークを学びながら、楽しく練習に励んでいます。今年度は令和4年4月17日、浅口市内外より11チームを招いて、第16回金小杯ソフトボール交歓大会を開催しました。この主催大会において、ベース固定金具を使用することが金小ソフトの積年の願いでした。予算面でなかなか達成することができず、苦慮していましたが、この度、助成金を受けることが決まり、3面コートのベース全てに固定金具を使用して大会運営をすることができました。また、全国大会等の正式な大会の公式ルールに基づいて、ベース固定金具を使用した試合を体験することは、子供たちにも貴重な経験となりました。
6	作東バレーボール スポーツ少年団	大会参加用ユニ フォームの購入 事業	創部は2000年ですが、2020年（令和2年）より指導陣や運営が新体制となり、現在（令和4年12月）、団員は当時5人から2年間で急拡大の合計19人。伴い、今年度第2新ユニフォームの購入を検討しておりました。子どもたちも大好きな岡山シーガルズの基調色をモチーフにしたユニフォームはデザイン性もよく、自チームにも他チームにも非常に好評で我がチームの象徴となるようなユニフォームとなり、子どもたちもこのユニフォームを着て試合に出ることが大きな目標となり、練習のモチベーションも大変上がりました。特に今回購入させて頂いた黄色のユニフォームが非常に好評で、Aチームが使用している関係上、このユニフォームに憧れを抱いているようで、今までにない勢いで練習に励んでおります。 大会参加については、夏はコロナの影響も少なく、ローカルな地域大会であったことから何とか2チーム出場することができ、Aチームは接戦となった準決勝で惜しくも負け、三位決定戦で勝利し、新体制最高位の三位とすることができました。Bチームは初めて高学年無しの試合参加となり、緊張の面持ちで頑張っていました。勝利には繋がらないまでも大きな目標ができた大会となりました。その後の大会は、コロナの影響で学校行事の延期となり、大会と重なったことや、大会自体が延期となり、また地元においても感染状況の懸念から2チーム参加が厳しい状況となりました。ただ、練習姿勢など普段の活動の活性化は充分図れたと感じております。 来年度は他チームに比べれば練習量や経験は劣りますが、【作東らしさ】で旋風を巻き起こせるように子どもたちとともに頑張っていきたいと思っています。
7	高梁フットボール クラブ	活動用具の整備 費用	高梁フットボールクラブは1982年から地域に根差した活動を続けています。人口は多くない地域ですが、自然に囲まれた環境の中でサッカーを通じて仲間の大切さや礼儀等を教えてもらいながら子供たちはサッカーを楽しんでいます。 2019年の西日本豪雨で練習拠点は被災し、多くの練習道具が流されました。残った物、代替できるものを活用し、修理できるものは修理し、子供たちは日々練習してきました。今回の助成金でゴールが購入できることで団長・コーチをはじめ保護者も大喜びでした。練習環境の整備をすることで、子供たちのモチベーションも上がり、練習のバリエーションが増え、今まで以上に練習が活気づいています。また、道具を大切に作る心や助け合う気持ち、思いやりが育つように活動を続けていきたいと思っています。
8	中庄学区ソフト ボール大会実行 委員会	中庄学区マラソ ンソフトボール 第25回記念大会	当実行委員会は、昭和55年より活動を開始。主な活動は、学区大会を年2回（5,11月）実施。町内より10チーム前後が出場。今秋で第75回大会を迎える。また、夏はこの“マラソンソフトボール大会”の企画、準備、運営をすべて行っている。感染症対応の長期化や学区全体の高齢化により、本年度いっぱいでは実行委員会を閉じることが決定している。 今回の助成を受けて、メモリアルイベントを企画するにあたり、賞品、参加賞、謝礼等、金銭面の援助により、アイデアの幅が広がった。どのイベントについて、多くの学区民や協力いただいた方々には好評でこれまでの感謝の思いを伝えることができたと確信した。 “ファイナル”としての意識付けで取り組んだ大会であったが、刺激を受けた若者やソフトボール愛好家から『形を変えてでもいいので、中庄のソフトボールの火は灯し続けてほしい。』との声もあった。実行委員会や有志が集い、今後のことについて協議していく。
9	新見市体育協会	第71回四県四郡 市総合体育大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止
10	備前市えびす駅 伝競走大会実行 委員会	第70回備前市え びす駅伝競走大 会（記念大会）	当会は、備前市スポーツ協会、備前市スポーツ推進委員、備前市陸上競技協会、備前市労働組合協議会、耐火物協会中国四国支部、備前商工会議所、備前観光協会で構成され、歴史ある大会の襷を繋ぐために、また、参加者に満足してもらえるような大会運営となるよう活動しています。第70回備前市えびす駅伝競走大会は新型コロナウイルス感染症の影響から3年ぶりの開催となりました。70回の歴史ある大会ということもあり、多くのランナーがこの日を待ちわびていました。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響は残り、感染症対策を施しながらの運営となりました。 大会の実施には、参加するランナーだけでなく、大会を支える競技スタッフの存在も非常に重要です。マルセン財団様からの助成によって電子計測区間を増やし、そのことによって競技スタッフの削減をすることができました。その他、コースの全面通行止めに伴う警備体制の強化や感染症対策などに使用させていただき、県内外からの参加者約600名、競技スタッフ約100名の大規模な大会となりました。歴史ある大会で多くのファンの方に支えていただいて備前市外からも多くの参加者があります。この機会にもっと備前市の魅力をPRし、大会だけでなく備前市の魅力発信の場になればと思います。



11	Fukiya design.	源範頼・義経杯 アーチェリー競技大会	当会は、岡山のアーチェリー競技人口を健全に拡大し、`競技スポーツ`としての頂点進出、そして`生涯スポーツ`としての環境充実、その両立の実現をめざしています。`競技スポーツ`としての頂点進出については、今シーズン・少年女子カテゴリーの大躍進によって、その可能性は高まってきました。`生涯スポーツ`としての環境充実については、助成金によって配備することができた台などの備品で、小回りの利く企画運営が可能となりました。 今後の活動として、岡山県内で、アーチェリー競技人口を健全に拡大していき、岡山県内で、アーチェリー練習場の環境を整えていきたいと考えています。
12	ふるさとの山、山道を整備する会	ツリークライミング教室の開催	当会は、ふるさとの小学校、中学校の校歌に歌われた山々の山道整備を行い、ふるさと再発見を通じ郷土愛を育むことに寄与する。助成を受け、今年度は「ツリークライミング体験会」を開催することができた。体験会は、小学生21名、保護者20名、指導員5名、会員他13名、合計59名の参加があり、貴重な山遊び体験の機会を提供し、ケガもなく無事体験会を終了することができた。参加者より、もっと楽しみたいという声もあり、今後は継続的に開催するイベントに位置付けできるように取り組みたいと考えている。また、山頂広場の整備の過程で支障木の伐採を行ったところ山頂の形状の変化に気づく人が意外に多く、関心を持った人が増えている。関係者の理解と協力で整備できた1.6キロの登山道を末永く自然災害等から守り、手入れしていく地道な取り組みが必須となるため、その活動への理解をどう広げ、高められるかが課題と考えます。
13	特定非営利活動法人やかげスポーツクラブ	第29回やかげスポーツクラブグラウンドゴルフ大会	当クラブは、大会を開催することによって、町内外を問わず親睦を深めること。グラウンドゴルフを楽しむことで人と接する機会が増え、体を動かす時間の確保及び心身共に健康で活力に満ちた日常生活を送れることを目的としています。そして、誰もがスポーツを親しむことができる環境づくり、地域の皆さんの生きがい健康づくり、様々な人との出会いふれあい仲間づくりをすることを目的とし、多様な教室、大会を企画運営をしています。 助成を受けての活動につきまして、5～6人1チームで、ゲームは個人戦とし、一斉スタートで8ホールを2回16ホールの合計打数で順位を決定します。(少数打上位)6コート設置し、参加者が密にならないようにゆったり試合ができるよう配慮しています。当初は3ゲームの予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、2ゲームとした。チーム編成は、普段交流ができない他地域の参加者と親睦を図れるように組み合わせを工夫して大会を行いました。

(各団体活動報告から)

2 文化活動に対する助成 (応募数 / 25 件 採用件数 / 12 件・延期 2 件) 実施 14 件

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
1	あかいわアートラリー実行委員会	あかいわ ART RALLY 2022	今回のテーマは『本の宇宙』。本とアートの関係、本を楽しむ場所を考える企画に決定しました。会場は赤磐市にある大苅田読書公園です。ここは図書館ではなく好きな本を持ってきて読む場所。この公園内の建物に10名の作家の作品を展示しました。その作品の中には、インクだけでできた本、本から植物が生えている作品、200点もの絵画作品のそれぞれから浮かんだショートストーリーを本にした作品など、普段目にすることができない作品ばかりでした。感想ノートには来場者から「凄く見ごたえのある展覧会でした。大好きな本がテーマで心が満たされた。」と多くの方から賛辞をいただきました。 助成していただいたおかげで、質の高い作品を展示することができ、来場された方々から充実した内容だと好評でした。また、日頃入ることができない会場に、初めて入ることができて良かったと言われる人も多かったです。 今後の活動としては、利用されていない素晴らしい場所の使い方をプレゼンテーションして、市民の皆さんと考えていきたいです。
2	浅口市総合文化祭実行委員会	第15回あさくち文化祭	金光町・鴨方町・寄島町の文化協会会員を中心に、それぞれの町で美術・文芸・芸能の発表を行うための文化祭を開催しています。本実行委員会は、上記文化祭を準備・運営するための団体です。 今年度は、金光公民館・浅口市中央公民館・ふれあい交流館「サンパレア」を会場に、美術展・文芸展・芸能発表会を開催し、来場者に日ごろの成果を発表しました。寄島会場では、地元の保育園・子ども園・小中学校・高齢者介護施設からの作品展示もあり、地域の交流が図られました。また、小学生を対象に、子ども体験コーナーを設置し、陶芸やフラダンスの体験を行いました。今年度は、新型コロナの影響で、密を防ぎつつ子ども体験コーナーを開催できる会場が寄島会場(ふれあい交流館「サンパレア」)しかなく、寄島会場のみでの開催に縮小しました。助成を受けて、文化祭を開催するための会場費等や、子ども体験コーナーの費用に充て、文化祭を盛大に開催することができました。

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
3	岡山楷の木少年少女合唱団	10周年記念コンサート 岡山楷の木少年少女合唱団〜絆〜	当団体は、イベント出演、ボランティア演奏など幅広い対外活動をしている。団員は、合唱の基本を学び技術向上に努める。今回の助成を受けて令和4年9月4日ゆめトピア長船夢いっぱいホールにて公演会を開催することができた。コロナ禍でも努力してきた子ども達の合唱とミュージカル「美女と野獣」では、ソロでの歌声とそれぞれの役を演じ、会場にファンタジーの世界を広げました。お客様からは、元気をもらえ、来て本当によかった事や、想像以上の子ども達の歌声に驚かれ、たくさんの好評をいただきました。今後も厳しい情勢が続くかもしれませんが、地域の皆様に元気を与え、次世代を担う子ども達の成長の場となるよう、続けてまいりたい。
4	岡山県こども備前焼作品展実行委員会	第13回岡山県こども備前焼作品展	今回の作品展は、六古窯として日本遺産に認定されている「備前焼」について、日本の伝統工芸として広くこどもたちに伝統文化の継承をはかるため、6月に市広報紙やホームページに募集要項を掲載した。市内高等学校、前年度出品校園、過去に出品歴のある団体等に出品の案内・参加依頼を実施し、その結果、近年出品がなかった学校園からも出品が有ったり、応募作品の増加につながった。 8月1日(月)から9月2日(金)出品申込の受付を実施し、9月16日(金)リフレセンターびげんで、岡山県備前焼陶友会会員である備前焼作家の審査員により審査会を実施し、982点の作品の中から、102点の受賞作品を選定した。 10月15日(土)・16日(日)に3年ぶりの備前焼まつりに合わせ、入選及びその他全作品(940点)をリフレセンターびげんで、特別賞、優秀賞受賞作品(42点)を対象とした作品展を備前焼ミュージアムで開催した。受賞作品及び制作者をリーフレットにまとめ、入場又は来館者はもとより、広く市内の文化施設に配布した。
5	佐方ひがさき踊り保存会	浅口市指定無形民俗文化財「ひがさき踊り(金光町佐方)」の伝承事業	当会は、浅口市金光町佐方地区の伝統芸能である浅口市指定無形民俗文化財「ひがさき踊り(金光町佐方)」の保存と伝承を目的として昭和49年に結成された。現在約30名の会員が、地区民や小学生児童への伝承、継承活動に努めている。この度、先輩から長年受け継いできたひがさき踊りの顔である「傘」が劣化してしまったため、この度の助成金で新調させていただいた。新調した傘は、令和4年8月26日の諏訪神社の奉納踊りを始め、活動ごとに披露をしている。毎年実施している浅口市立金光吉備小学校の運動会での活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、今年度は見送りとなった。しかし、同小学校3年生の総合学習では、12月1日と9日に出前講座を実施し、傘を披露することができた。新型コロナウイルス感染症の影響で「地区の夏祭り」「浅口踊り交流会」は、現在中止となっているが、再開した際は、助成いただいた傘を多くの方々に披露し、大いに活動が広がることを願っている。
6	玉野フィルハーモニー管弦楽団	玉野フィルハーモニー管弦楽団第25回定期演奏会	玉野市唯一のオーケストラとして、地元で演奏活動を続けている。コロナウイルス感染拡大の影響もあり、団員数が減少し、定期演奏会自体も2年続けて延期となっていたが、今年、ようやく演奏会が開催できることになった。演奏会を開催するにあたっては、エキストラ、指揮者謝礼の他、チラシやポスターでの宣伝活動、本番用ホールでの練習などに経費が必要であった。貴財団からの助成金をエキストラ謝礼に充てることができ、団員の負担がさほど増えることなく、演奏会を開催することができた。演奏会当日は、演奏会場が観客で満員になり、地域の方も待ち望んでいた演奏会であったことを実感できた。また、観客の前で3年ぶりに演奏することができ、団員一同、演奏を聴いていただく喜びを改めて感じることもできたとともに、次回以降の演奏会に向けて、さらに技術を高めていきたいという意欲につながった。コロナ前に比べ、団員数の減少が著しい。SNSなどを使って団員募集をしたり、他団体の演奏会プログラムに団員募集のチラシを挟んだりして広報活動を行い、団員増をめざす。また、少人数でもできる演目や会場を探し、定期的に演奏会を行うことで、地域の方にも玉野フィルの存在を周知していくとともに、定期演奏会の他にも慰問演奏、地域の施設でのイベントなども行っていきたい。
7	中川公民館 総務文化部	音楽鑑賞会	中川公民館活動の中で、人権に関する講演会、地域の方への生涯学習の提供として講演会、講座などを企画提案実施をする。また、隔年開催ですが「公民館祭」の主管として行っている。西日本豪雨の際、中川小学校児童を演奏で激励にきてくださった、白井篤・塩見亮両氏が再度来られて4年振りに素晴らしい演奏会を行ってくださると橋渡ししてくださった方、ご期待に沿うべき実施に向けて検討協議してきました。助成いただき、公民館の行事としてではなく、貴財団の助成事業と銘打つことで信用というか、なにか後押しされた事業としてみられ好評を博しました。



番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
8	備前市「論語かるた」大会実行委員会	備前市「論語かるた」大会	備前市の文化芸術を広く発信し、豊かな地域文化の振興を図るとともに、地域の活性化、誘客の促進に寄与することを目的に備前市「論語かるた」大会の企画運営を行います。構成員は、備前市教育委員会教育長、備前商工会議所会頭、(公財)特別史跡閑谷学校顕彰保存会理事長、岡山県青少年教育センター閑谷学校所長、備前市観光ボランティアガイド協会会長、熊沢蕃山顕彰保存会会長、備前市自治会連絡協議会副会長、備前市立伊里小学校長、岡山県立備前緑陽高等学校長である。市の伝統文化の保存、活用を担うセクション、学校教育のセクション、コミュニティセクション、そして市。このように各関係機関と連携を取りながら、「論語かるた」大会を企画運営しています。ただ、平成31年度から令和3年度まで、3回の大会企画をするも、いずれもコロナ感染症でやむなく中止しました。 コロナの影響で毎年中止としていた当大会でありましたが、今年度、輝かしい第1回大会として実施することができました。70名(個人戦34名、団体戦36名※個人戦、団体戦重複出場有)の参加があり、「論語かるた」を目の前に、選手は皆、一生懸命に絵札を取り合い、熱戦を繰り広げられました。当大会を通じて、備前市の文化芸術を広く発信し、豊かな地域文化の振興を図るとともに、地域の活性化、「旧閑谷学校」への誘客促進に寄与することができたように考えています。4回目の企画で、初めての実施となり、記念すべき大会となりました。 コロナ感染症の影響もあり、まだまだ参加者が少ない状況です。初めて、団体戦(3名1組)を設けて、参加者を募りましたが、参加者目標値(100名超)まで達していません。かるたについての問合せや購入も徐々に増えてはきていますが、当該「論語かるた」が、備前市(旧閑谷学校)が「かるた大会の甲子園」として浸透すべきツールとなり、誘客や関係人口の大幅な増加へとつなげるには、かるたのデジタル化(DX化)など、新たな切り口でのPRも必要ではないかと考えています。
9	備中神楽保存振興会	第26回備中神楽鑑賞会倉敷公演	重要無形民俗文化財『備中神楽』の保存と振興のため平成7年1月27日に発足。以来、岡山公演と倉敷公演を毎年行って参りました。令和4年度で岡山公演と倉敷公演の鑑賞会は第26回を迎えます。コロナ禍の中で、入場数の制限もあり鑑賞会を開催することは大変難しい状況にあります。しかし、備中神楽の保存と振興のためにはどんな事があっても継続することが、伝統の継承につながってきます。特に神楽太夫の舞台がここ2年備中地方では激減しております。金銭的にみれば大変苦しい状況にありますが、助成を受けられる事は大変文化的価値が高く大変ありがたいです。3年ぶりに倉敷公演を開催しましたところ、観客の皆様、神楽太夫の皆様ともに大変喜んでいただきました。公演会を開催して本当に良かったとの思いを強く致しました。今後も、伝統に根差した備中神楽を続けていきます。
10	まび創成の会	倉敷・真備を水害のない住みよいまちにするための活動(復興展示会の開催)	今回の「水害伝承の展示会」は、まび創成の会が事務局となり、国・県・市も巻き込み、真備町内7地区のまちづくり推進協議会、商工会、農業団体、医療・福祉など様々な団体や個人に広く呼びかけ実行委員会を組織し、オール真備体制をつくり取り組んだ。災害と復興に関わる写真や資料を3000点以上をご提供いただき、うち約1000点を展示した。マルセン財団からの助成金も活用し、チラシ約2万枚・ポスター2000枚を印刷し、七地区まちづくり推進協議会の協力で真備地区内全戸に配布するとともに、ゴミステーション等へポスターを貼った。西日本豪雨被災まる四年という時期でもあり、地元のマスコミにも取り上げられ、7月1日から4日までの四日間、約1800人のご来場をいただき、大変大きな反響のもとに開催することができた。この展示会の成功を受け、集められたデジタル画像データの今後の利活用の検討や次の展示会へ向けた計画を、事務局を担ったまび創成の会で練っている。
11	美咲桃太郎の会	「第19回桃太郎サミット2022in美咲」を盛り上げるための桃太郎グッズ「元祖美咲桃太郎伝説すろく&伝説マップ」の制作と活用	美咲町は各地に残る美咲桃太郎伝説ゆかりの地の地名が特徴であることから、鬼が住んでいたとされる鬼山を起点に「美咲桃太郎伝説」を盛り上げようと地元有志を中心として「美咲桃太郎の会」を発足。地域の活性化と文化の伝承を目的に、ゆかりの地をめぐるウォーキング大会の実施や、のぼり旗づくり、学校や保育園での出前授業、大型紙芝居の上映などの活動を実施しています。 美咲町の旧村のひとつである三保村が昭和3年に発刊した「三保村誌」に載っている「桃太郎伝説」は日本で一番早く書物に掲載されたものであり、地形の特徴を活かして名付けられた地名(鬼山・焼寺・退治山・勝塔・祝詞)と伝説を結び付けた先駆けと評された。そこで、それを「元祖美咲桃太郎伝説」と銘打って、先人たちの残してくれた美咲の宝物として、住民の力で継承・啓発・活用を試みるため、地域の活性化と文化の伝承をもとに「元祖美咲桃太郎伝説」の絵本を作製した。 「美咲桃太郎伝説」をテーマに美咲桃太郎の会が美咲中央小学校3年生の探求授業に講師として呼ばれた際、絵本を活用し、分かりやすく郷土の文化、地名等を説明。その後3年生が学習発表会で劇を通じて発表。地域の方々への伝承につながった。また、桃太郎サミットでは記念品として配布し、全国へ「美咲桃太郎伝説」を発信することができた。 更に「美咲桃太郎伝説」を普及啓発するためにも、会員を増やして活動を広げていきたい。

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
12	moon	アートの手触り	moonのアートプロジェクトは、11月1日(火)～6日(日) 岡山県天神山文化プラザ 第4展示室においてメンバーの内 岡部玄、近藤千晶、岩崎正嗣、松本恭吾の4名が、「アートの手触り」をテーマに、彫刻、絵画、コンピュータ・グラフィックス・映像作品の約13点を制作発表した。「アートの手触り」は、SNS上などで消費される質感の希薄なアートの増加や、コロナ禍のなか非接触を求められる生活様式の常態化が進行する現代において、アートの重要な要素である質感、テクスチャー、マチエール、身体性、生命感などをテーマとする作品を提示し、実際に展示会場に足を運んで体感いただいたり、ワークショップに参加することで自ら体験していただくことの重要性は高まっていると考え、設定したテーマである。会期中には、ギャラリートークを開催し、各々の作家が自作の前でコンセプトや手触りに関する考えを説明し、質問を受けるなどして直接観覧者への発信と交流を図る。また、フロッターージュ(凹凸のあるモチーフに紙や布を当て、色鉛筆などで擦り出す技法)や和紙のもみがみ技法で浮かび上がった繊細な模様を活かし、ブックカバー、しおり、トートバック、缶バッジ、ストラップなどの作品を作成するワークショップを複数回開催することで、地域の方々に手触りを感じながら作品を創作することの楽しさを体験していただくことができた。 今回は貴財団の助成事業としていただいたことに加え、岡山県、岡山市、山陽新聞社、RSK山陽放送に後援を申請し、広報に力を入れる。助成いただいたチラシ1,500部のほとんどを使い切って配布、送付を行い、展示の岡山県天神山文化プラザに加え岡山県立美術館、RSK山陽放送、アムス岡山店などにポスターの掲示を依頼する。また、助成いただいた動画撮影編集費によって、ギャラリートークやワークショップの様子をYouTubeにて配信し、展覧会終了後の発信にも力を入れた。会期中11月4日には山陽新聞朝刊文化欄にて展覧会の紹介記事を掲載していただくこともできた。
13	木管五重奏団 Stella	木管五重奏団 Stella 8th Concert	木管五重奏団Stella 8th Concertを実施し、ゲスト(共演者)にプロフェッショナル又は専門的に音楽を学んだ演奏家を招き、弦楽+木管五重奏+打楽器による特別演奏会を開催した。また、当団初めての試みとして、有観客+オンラインのハイブリッドコンサートを実施した。 当団の演奏会コンセプトは、気兼ねなく参加できるクラシック音楽会であり、少し専門的な楽曲から、クラシック音楽初心者方でも楽しめる曲まで、幅広く取り上げることとしている。本演奏会は、昨年開催された東京オリンピックの次の開催地がパリであることから、「フランス」を演奏会テーマとし、全てフランス人作曲家の作品を演奏した。演奏会は2部形式で、第1部は木管五重奏、第2部はゲスト演奏家を含む室内楽の演奏を行った。 第1部のテーマは、「ドビュッシーとその周辺」とし、日本でも人気が高く印象派を代表するC. Debussyと、彼が影響を受けたE. Satie、また彼の音楽に影響を受けた、F. Poulenc, D. Milhaudの作品を取り上げた。 第2部は、近年世界的にジェンダー平等や女性活躍の議論が進んでいることに着目し「女性」をテーマとした。第2部では、1800年代前半から活躍し、パリ音楽院で初めて女性教授に就任した作曲家Louise Farrencの九重奏曲や、クラシック音楽の有名曲の1つであるG. Bizetのアルルの女第一・第二組曲を演奏した。 今回の助成を受けて、新型コロナウイルス感染症対策の観点からも実施したハイブリッドコンサートであるが、感染症対策のみならず、東京や大阪といった、関東圏・関西圏からも複数視聴していただけた。実際にお越しいただいたお客様とオンライン配信で視聴くださった方を合わせると、100名弱の方に参加いただいた。これは当団の最多観客数であり、オンライン配信でも音楽を届けることができたと考えている。また、弦楽器や打楽器奏者と共演することで、観客の皆様のみならず、出演した団員も大きな刺激を受けた。
14	山本幸(個人)	新庄村の草原性のチョウの生態研究と生息地保全	新庄村は県下でも有数の蝶のホットスポットです。なかでも中国山地に限定的な絶滅危惧種で2016年に『種の保存法』に指定されたウスイロヒョウモンモドキの生息地として知られていました。残念ながら2017年以降自然発生が確認されておらず、環境省の『ウスイロヒョウモンモドキ保護増殖事業』の一環で、2021年より生息域内で域外飼育がスタートし、飼育担当として食草確保や生態観察を行っています。また同年、村内では絶滅したと思われていたゴマシジミの生息を確認しました。新庄村・日本チョウ類保全協会とも協力しながら、調査と保全活動を行っています。これらの蝶は草原性なので、人間が草原利用をやめてしまうと、草原が森に遷移していき、それに伴い植草が変わり、蝶の生息環境が消え、一気に絶滅に追いやられます。なので、草原の維持を試みるべく草刈りを行い、食草が減らないように、また採集圧がかからないようパトロールを行うなどといった保全活動を行っています。 助成を受けて、草原の維持管理に必要な下草刈り機を購入できたので、活動できる人間が増えました。また飼育時に必要な資材や観察道具の購入に充てることが出来たので、生態系の理解や記録を充実させることが出来ました。今後はこの道具を活用して、対外的にも観察会などを行うことが出来ると考えています。

(各団体活動報告から)

第2章 表彰事業関係

① マルセン栄誉大賞

令和3年度スポーツ・文化活動において、大賞受賞者が特に優秀な成績・業績を収め、更なる功績をあげた者。

【マルセン栄誉大賞】

●井手 康人 【美術(日本画)】

- 画家としては、平成2年日本美術院展覧会に初入選して以来、多くの作品を出品され足立美術館賞、外務大臣賞、天心記念茨城賞、大観賞、文部科学大臣賞、内閣総理大臣賞と頂点を極めている。岡山県関係者としては平成26年に平櫛田中以来100年ぶりに日本美術院同人に105人目として推挙された。一方、地域においては教育委員として、芸術文化行政に尽力し、地域の発展に寄与している。

② マルセン大賞

令和3年度における国際大会・全国大会等において、著しく活躍された個人・団体又はスポーツの振興に多大な功績のあった者。文化の振興に著しく貢献した個人又は団体。

【マルセンスポーツ大賞】

●小松原 美里・尊 【スケート(フィギュアスケート)】

- 2016年に結成しわずか3年で全日本選手権を優勝し、2022に開催された北京五輪では、表情豊かでダイナミックな演技とその時々には伝えたいメッセージに合わせた選曲や振付で団体戦入賞の一翼をにない日本チーム初の銅メダルを獲得した。フィギュアスケート"アイスダンス"では現在、全日本4連覇中の日本を代表する国際カップルとして岡山県民に希望と誇りを与えた。

●佐藤 友祈 【車いす陸上競技(競走 T52)】

- 2019年世界パラ陸上選手権400m/1500mで二冠を達成し、国民の大なる期待のもと東京2020パラリンピック400m/1500mに出場し、リオパラリンピックで後塵を拝したレイモンド・マーティン選手と両レースともまさに死闘を演じ、出場2種目でパラリンピックレコードを更新し金メダル二冠を達成したことは、国民・県民のみならず障害のある者に対しても希望と勇気を与えた。

●原田 のどか 【球技(ソフトボール)】

- 岡山南高2年の2008年に女子野球ワールドカップの日本代表として「1番右翼」で初優勝に貢献した。太陽誘電入社後、6年間の経験を積み16年に初めて日本代表に選ばれ、国内屈指の守備力を誇る外野手で、2017年の東アジアカップで代表デビューを果たし、18年ジャカルタ・アジア大会では日本の5連覇に貢献し、3大会ぶりに開催された東京2020ソフトボールでは岡山勢初で選ばれ、「持てる力を発揮し、一つでも多くのチームの勝利に貢献する。最初から最後まで全力でプレーしたい」との抱負のもと優勝(金メダル)を獲得したことは県民に感動を同窓生に勇気と希望を与えた。

●山本 由伸 【球技(野球)】

- 野球に集中できる環境を求め宮崎・都城高校に進学し、1年で夏の選手権宮崎大会に出場果たすと秋からは本格的に投手へ転向し2年春にストレートで147km/h、同年夏の宮崎県新人野球大会で151km/hを計測。同大会決勝ではノーヒットノーラン達成等の実績で九州四天王と評価をされ、オリックス・バファローズに入団してからは普段の努力と潜在能力を発揮し、オリックス・バファローズの大黒柱として最多勝、最優秀防御率、最多奪三振、勝率第1位の4冠を達成し、「沢村賞」とパ・リーグ最優秀選手を受賞。また、東京2020オリンピックではエースとして活躍し侍ジャパンに悲願の金メダルを獲得し、県民のみならず国民に感動をもたらした。

【マルセン文化大賞】

該当なし

③ マルセン特別賞

令和3年度における国際大会・全国大会等において特に優秀な成績を収めた個人、団体又はスポーツの振興に相当な功績があった者。文化の振興に特に貢献した個人又は団体。

【マルセンスポーツ特別賞】

● 岡山県立井原高等学校男子新体操部 【体操(新体操)】

- 平成17年開催の岡山国体に向けて平成11年地元井原市、県スポーツ協会の支援を受け創部され、地域とともに活躍され、令和2年マルセンスポーツ賞を受賞。その後も令和3年に全国総体で優勝し令和元年から連覇を果たし「新体操のまち井原」として部活動を通じて教育・地域振興への貢献は大であり、県民・地域住民に誇りを与えた。

● 梶谷 翼 【球技(ゴルフ)】

- 高校ゴルフの伝統校滝川第二高校へ進学し、「希望に起き、努力に生き、感謝に眠る」の部訓のもと、日々努力し全国優勝を目指し学生生活を送っていた中、'19年の国際対抗戦「トヨタジュニアワールドカップ」で女子日本代表として個人4位、団体優勝を果たした。同年は「日本ジュニア」で優勝し、「日本女子オープン」で9位に入りローアマチュアを獲得した。'21年4月、マスターズの会場で決勝を行う「オーガスタナショナル女子アマ」でプレーオフを制し日本勢初制覇を遂げ、県民のみならず国民に感動を与えた。

【マルセン文化特別賞】

該当なし

④ マルセン賞

令和3年度における国際大会・全国大会等において優秀な成績を収めた個人、団体又はスポーツの振興に功績のあった者。文化活動において、文化の振興に貢献した個人又は団体。

【マルセンスポーツ賞】

● 創志学園高等学校女子柔道部 【格闘技(柔道)】

- 岡山県の強豪校として高校柔道の牽引役を務めている同校は令和2年に開催された第43回全国高校柔道選手権個人戦では5階級中4階級で優勝を含み5位入賞を果たしている。

創志学園高校は第70回大会に岡山県代表として7階級全てに出場し、2階級で個人優勝、1階級で5位入賞を果たしている。また、同部は32回大会中3回以上連続出場を9回果たす実績をもって、女子団体戦では見事優勝し、県民に感動を与えた。

● 中島 未莉 【スケート(ショートトラック)】

- 小学校でもらったチラシがきっかけでスピードスケートを始め、高校生の時頭角を現し国体第74回大会から優勝を含め連続入賞し、昨年の第77回国民体育大会冬季大会のスピードスケート・ショートトラック競技では、少年女子500メートルで2年ぶり2度目の栄冠を獲得した。今国体で岡山勢の優勝第1号となり、県民に感動を与えた。

● 三宅 星南 【スケート(フィギュアスケート)】

- 5歳からフィギュアスケートを始め、高校3年時第75回国体において、個人・団体に優勝を収めた。同年11月開催の第89回全日本フィギュアでは第3位、今年度第90回では6位入賞を果たし、日本スケート連盟からJOCオリンピック強化選手に指定され、強化選手として臨んだ「四大陸フィギュアスケート選手権」では4位入賞を4果たし、地元町民のみならず県民に感動を与えた。

【マルセン文化賞】

● 木口 雄人 【音楽(鍵盤楽器 ピアノ)】

- 京都市立芸術大学大学院を首席で修了し、ヨーロッパに渡りウィーン国立音楽大学大学院で研鑽を積み、令和2年ソプラノ歌手森野美咲氏とデュオを組みブラームス国際コンクールで最優秀歌曲伴奏賞を受賞した。翌年イタリアの「スクリャービン国際ピアノコンクール」で第2位(1位なし)最高位を獲得し、2年連続となる国際コンクールでの栄誉に輝いたことは地元住民のみならず県民に感動を与えた。

● 山崎 樹一郎 【伝統芸能(映画監督)】

- 映画館のない真庭市に移住後、真庭から映画を発信することを目指してシネマニワを設立し、作品はすべて真庭市内で撮影し地元民との共同作業により制作し、作成した映画を市内で上映イベントを開催したり市内小中学校で映画を通して教育に取り組み映画普及への貢献は大である。また、本年作成された「やまぶき」は第51回ロッテルダム国際映画祭のメイン部門タイガー賞に出品されたことは日本映画としては7年ぶりの快挙であり、地元住民のみならず県民・国民に感動を与えた。





贈 呈 式

と き: 令和4年12月14日(水) 11時00分

と ころ: ホテルグランヴィア岡山「フェニックス」

- 式次第:**
- | | |
|-------------|----------------|
| 1 開 式 | 5 受賞者代表あいさつ |
| 2 あいさつ | 6 活動助成金贈呈 |
| 3 来賓祝辞 | 7 活動助成団体代表あいさつ |
| 4 表彰盾及び副賞贈呈 | 8 閉 式 |



受賞者からのひとこと

マルセン栄誉大賞

美術(日本画)・井手 康人



マルセン栄誉大賞を頂いて

このたびは栄えあるマルセン栄誉大賞を賜り、誠にありがとうございます。
身に余る賞を、推薦していただいた方、選んでいただいた方々に、心より厚く御礼申し上げます。

日本画という世界から、さまざまなつながりを得て、多くの素晴らしく幸せな出会いに巡り合えたことが、この誉れに結びついたと感じております。

絵描きとしてだけではなく、大学での教員ということが、私の人生に大きな影響を与えてくれました。

現在の文化芸術教育の環境は、多くの問題を抱えています。少子化や地域格差などの社会的な要素と、一般社会の文化芸術に対する理解度が、今の日本の低迷につながっている要因の一つだと考えています。このことは文化だけでなく、スポーツの世界にも同じ思いを抱かれている方がいると思います。主要5教科以外の科目は、学ぶ環境が著しく貧困で、重要視されていないと感じます。

人は、人間として本当の喜びや豊かさを知り、人生を全うしたいと望みます。スティーブ・ジョブズは、何のために生きてきたのかを振り返り、「もっと家族や愛する人という時間を大切にすれば良かった。芸術にもっと触れて心の潤いを得れば良かった」と言いました。そして芸術は誰にも奪えません。映画「ショーシャンクの空に」でのセリフが印象的です。無実の罪で捕まった男は、刑務所の独房で長い間閉じ込められます。やっと解放されて囚人たちと食事を取った際、「一人で辛かっただろう」と言われますが、「いや、そんなことはなかった。心の中のいろんな音楽が、私を慰めてくれた。心の中の音楽は誰にも奪えない」と答えています。

文化芸術は豊かさや喜びとともに、癒やしや救いも兼ね備えているのです。

いかに生きるかーその生き方を学ぶ時、知識とともに、生きがいや人とのつながりが、いかに大切なものを忘れてはならないと思います。

幸いにも光を与えていただいた私たちとともに、次の世代を担っていくであろう方々にも、温かい御支援と御理解を賜りたいと切に願っております。

最後ではありますが、いつも変わらない御支援をいただいておりますマルセンスポーツ文化振興財団様をはじめ、多くの関係者の方々に、改めて深く深く感謝し、御礼の辞とさせていただきます。



マルセンススポーツ大賞

スケート(フィギュアスケート)・小松原 美里・尊


 マルセンススポーツ大賞
 受賞にあたって

このたびは、マルセンススポーツ賞という荣誉ある賞を歴代の先輩方に続き、いただけることができ、大変光栄に思います。岡山県人として、とてもうれしく、選んでいただいたことに感謝しております。

今年2月には、岡山でフィギュアスケートに出合ってから21年、夢であった五輪でのメダル獲得をかなえることができました。長く海外で練習や合宿をしていたのですが、五輪前3年間は、生活の拠点を岡山に構え練習を積みました。出発前最後の練習で、スケートを始めた岡山の氷にキスし、氷の神様にお礼を伝えることができました。出発時もリンクのスタッフさんや市の皆様、スケートクラブの皆様の寄せ書きが力を授けて下さいました。

そういった準備期間の大切な時間を地元の皆様と過ごすことができたことで初心を忘れることなく本番に挑めた。私たちの心に残り続けて、いつでも助けてくれる記憶です。

たくさんの応援や温かい言葉を本当にありがとうございました。

北京五輪ではメダル獲得という最高の喜びと、もっとできたという悔しさの両方を得ることができました。テーマにしていた「楽沁む」は、昨シーズンの私の造語ですが、自分が楽沁むことで皆様に楽しさが沁みて広がっていくという精神的な目標でした。シーズン後半はできたといえる場面があり、スポーツの熱さを皆様と共有できた喜びがありました。

今年は「Giving(贈る・与える)」をテーマに、観て下さる方が競技ということをお忘れるくらい楽しんだり、感じることで残る記憶に残る作品を届けられるように日々の練習を頑張っています。

私たちは、2016年にイタリア・ミラノでチームを結成しました。それからさまざまな経験を積ませていただき、私たちが競技引退を見据えている2026年の五輪。発表された開催地はミラノでした。結成10年目、そして物語がスタートした場所。

この旅の間にどれだけ心身、競技力共に向上できるか楽しみです。そしてその経験を通して岡山の子供たちや応援してくださっている方に還元できるよう頑張りますので、今後とも応援のほど、よろしくお願い致します。

改めまして、貴重な賞の受賞者に選んでいただき心からの感謝を申し上げます。誠に、ありがとうございました。



2022年全日本フィギュアスケート選手権



2022年全日本フィギュアスケート選手権にて、サポートして下さいた有川先生、パスカル先生との一枚

写真提供：受賞者より

マルセンスポーツ大賞

車いす陸上競技(競走 T52)・佐藤 友析

マルセンスポーツ大賞
受賞に寄せて

このたびは、2021年に開催された東京2020パラリンピックの陸上400mおよび1500mの2種目で金メダル獲得を評価いただき、スポーツ大賞という荣誉ある賞に選出いただいたこと、厚く御礼申し上げます。2016年にも世界パラ陸上競技選手権の結果からスポーツ賞をいただいて5年ぶりの受賞となります。

私は2012年にテレビでロンドンパラリンピックの陸上競技のレースを見て大きく人生が変わりました。2010年に障害を負ってから1年半の間原因不明の病を理由に障害者認定されなかったため、障害を受け入れることも容易でなくさまざまな葛藤を抱えながら暗闇の中をずっと歩いているような感覚でした。脊髄炎という判定を受けたタイミングでパラリンピックに出会い、「これだ！僕が障害を負ったのはこの舞台に立つためなんだ」と強く思ったことが競技を始めたきっかけです。

リオデジャネイロパラリンピックでは銀メダル2個という、目標の金メダル獲得にあと一步届きませんでした。パラリンピックの借りはパラリンピックでしか返せないという思いで自国開催のパラリンピックに向けて調整を重ねるさなか、新型コロナウイルスの感染拡大が起きました。特に東京オリンピック・パラリンピックの延期決定は、私を含め東京大会で活躍を目指していた選手にとって大打撃でした。しかし、コロナウイルスによって全ての人が不自由を強いられ世界中が負のオーラに巻き込まれそうになる中、私は「このままではダメだ、僕がパラリンピックを見て救われたようにこの負のオーラを吹き飛ばさなければ」と思い立ちました。先が見えない逆境の中で私が「人間の可能性」を世間に証明するためにとった手段が、プロアスリートへの転向という一大決心でした。アスリートとして自分自身の発言に責任を持つため、パラリンピック直前のタイミングでしたが、背水の陣の覚悟で安定した会社員の立場を卒業しました。現在は私自身そしてパラスポーツ全体に対して大きな熱量を持ってサポートしてくれる株式会社モリサワ(フロントバンダー)をパートナーとして契約しています。そうした新たな挑戦を重ねて挑んだ東京2020パラリンピックでは、医療従事者・大会ボランティア・関係者・ファンの皆さま・家族のおかげにより2種目で金メダルを獲得することができました。

私が障害を負った当初や自由が制限されるコロナ禍でも、できない現状を受け入れどうしたらできるかを考えて挑戦することで見える世界が広がります。共生社会の実現を目指す世の中においても同様に、できる方法を実行することで健常者も障害者も関係なく支え合える社会につながると信じています。競技活動はもちろんのこと講演・イベント出演など地域の方々との交流において一人のプロアスリートとして先頭に立ってこうした考えを発信することで、パートナーのモリサワや関係者の皆さまとともに健常者も障害者も関係ない社会を実現していきます。

関係各位の皆様のご健康を祈念するとともに、今後とも文化界・スポーツ界へのなにとぞ格別なるご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



マルセンススポーツ大賞

球技(ソフトボール)・原田 のどか

マルセンススポーツ大賞
受賞にあたって

このたびは栄えあるマルセンススポーツ大賞の名誉を選考していただき本当にありがとうございます。関係者各位の皆様にも深く感謝申し上げます。

私は2020東京五輪、女子ソフトボール競技で世界一になることができ、悲願であった金メダルを獲得することができました。

ここに至るまでにはさまざまな困難や厳しい練習や試練が多くありました。そして新型コロナウイルスの影響による大会延期や、無観客試合と、開催にあたる運営側も競技者もたくさんの苦悩があったと感じます。それでも、生活さえままならない状況下でもこうして東京五輪が開催され競技ができたのは、全世界の皆様のご協力があったからだと思っています。この場をお借りして御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。競技を通してどうか勇気や元気、笑顔を届けたいと思い臨み、気がつけば私たち選手が、このような大変な状況下でも変わらず応援してくださる皆様に元気づけられていたと感じます。

このようにして悲願であった女子ソフトボール競技2大会連続金メダル獲得で少しでも岡山の皆様をはじめ応援してくださった皆様に勇気や元気、笑顔が届けできていたら幸いです。

ソフトボールという競技は本当に奥が深くとても楽しい競技です。実際、東京五輪でのソフトボールはこれまででいちばん心から楽しめた期間だったと感じます。何よりも苦楽を共にし、同じ志を持った仲間と共に世界一を目指して心震える試合をすることの喜びは何物にも代えられないかけがえのない最高の時間でした。「幸せ」は一生懸命の中にあると痛感しました。

また、応援してくださる皆様のパワーというのは何よりも最大の武器でした。その後押しがあってこそその金メダルだと感じています。

この経験をこれからの人生に生かしていきたいと心から思います。そしてソフトボールだけに限らずこれからの時代の主役になる若い世代の皆さんに少しでも力になれるようにこのたびの表彰を機にさらに競技者としても人としても成長していきたいと思っています。



マルセンススポーツ大賞

球技(野球)・山本 由伸


 マルセンススポーツ大賞
 受賞にあたって

このたびはマルセンススポーツ大賞に選出いただき、誠にありがとうございます。大変名誉ある賞を頂戴し、光栄に思います。

また、地元岡山の皆様には、かねてから熱い応援をいただき、重ねて御礼申し上げます。

2021年度は私にとって、とても実りある1年でした。プロ野球のシーズン中にオリンピックがあるというレアな年で、日本代表としても、バッファローズの一員としても、素晴らしい経験を積むことができました。

東京オリンピックは、皆様もご存じの通り自国開催という注目度が高い特別な大会でした。そこで日の丸を背負ってマウンドに立つことは、これまで味わったことがないぐらいの大きな緊張感を味わいました。金メダルが決まった瞬間は、一生忘れられない大きな喜びがありました。本当にうれしかったですし、ほっとした気持ちになりました。

プロ野球では、バッファローズとしては25年ぶりのリーグ優勝、さらに個人としては投手4冠、沢村賞をいただきました。素晴らしい賞をいただけて、自分がこれまでやってきたことが間違いではなかったのだと実感しました。

金メダルも、沢村賞も、自分に与えられたチャンスや環境、そして周囲の人々に感謝しながら、1試合1試合一生懸命に取り組むことが、結果につながったのだと思っています。

今の私があるのは、地元岡山で野球を心から楽しんでプレーした経験があるからです。野球が大好きだという気持ちが、自分をここまで成長させてくれましたし、今もなお、より高みを目指して野球と向き合おうという思いにさせてくれます。

今後も自分にとっての原点である岡山の皆様に、良い報告ができるよう、精一杯頑張っていきます。来年(令和5年)の春はWBCが待っていますし、メンバーに選んでいただけたら悔いのないよう全力で戦い抜き、多くのことを学んで帰ってきたいと思います。そして、バッファローズとしても、リーグ3連覇と日本一連覇をつかめるよう、妥協せずに自分自身を磨いていきます。岡山の皆様、引き続き熱い声援を、よろしくお願いいたします。



©ORIX Buffaloes



マルセンススポーツ特別賞

体操(新体操)・岡山県立井原高等学校男子新体操部

マルセンススポーツ特別賞
受賞にあたって

このたびは、マルセンススポーツ特別賞に選出していただきありがとうございます。また、このたび受賞にあたってご尽力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。この賞は、多くの方からの支援・サポートがあつてこそ、いただくことができたと確信しています。選手に寄り添い、休むことなく指導してくださる監督や遅い時間に帰っても温かいご飯をつくって待っていてくれる家族、そして井原高校の演技を楽しみにしてくださる日本中のファンの方々がいたからこそ、私たちは一心不乱に新体操に取り組むことができました。

コロナ禍により無観客で行われたインターハイには、以前のような大きな拍手や歓声はありませんでした。毎朝厳しい健康チェックを受け、アップ場の入退館時間を分単位で決められていました。例年とは違う異様な空気感に、戸惑うこともありましたが、不安はありませんでした。なぜなら私たちは、この試合ですべてを出し切るために、今まで準備してきたからです。毎日の厳しい練習や、多くの方々からの声援を思い出すことで、焦らず平常心で演技に臨むことができました。演技が終わり、優勝が決まった瞬間の喜びは、今でも忘れません。

今、2022年井原高校の演技は、YouTubeで100万回再生を超えています。日本国内のみならず海外からの反響が大きく、称賛のコメントが多数寄せられています。今後も、多くの感動を届けるために、チーム一丸となって精進していきます。これからも応援をよろしくお願いいたします。

主 将 小寺 真輝



マルセンススポーツ特別賞

球技(ゴルフ)・梶谷 翼


 マルセンススポーツ特別賞
 受賞にあたって

この度はマルセンススポーツ特別賞という名誉ある賞をいただきまして、大変光栄に存じます。このような素晴らしい賞を受賞できたのは、今まで支えてきてくださった皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

私は小学1年生の時に両親の影響でゴルフを始めました。そして小学2年生の時、初めて出場した世界ジュニア日本代表選抜大会で1位と1打差の2位になり、日本代表を逃したその時から世界大会を意識するようになりました。翌年の世界ジュニア日本代表選抜大会では優勝して初めて日本代表になりました。そしてアメリカで行われた世界ジュニア選手権では優勝し、初めて世界のうれしさを味わいました。

それからは何度か世界ジュニア選手権を優勝しました。日本ゴルフ協会のナショナルチームに選出していただいて、たくさんの世界大会にも出場させていただきました。

そして今回スポーツ特別賞をいただくことになったオーガスタナショナル女子アマチュア選手権は、アメリカのジョージア州のオーガスタナショナルゴルフクラブが会場で、このオーガスタナショナルゴルフクラブというゴルフ場は、ゴルフの祭典マスターズが毎年開催されるゴルフ場でゴルフファン憧れの場所です。そこから招待状が届いたときは本当にうれしかったのを覚えています。初めてオーガスタナショナルゴルフクラブに足を踏み入れた時は、感動とうれしさと感謝の気持ちがこみあげてきました。試合もオーガスタナショナルゴルフクラブでプレーができることに感謝して心から楽しみました。終わってみると1位タイでプレーオフをすることになったのですが、「みんなはもう終わったのに私はまだ数ホールプレーができる」と思いながらプレーオフをしたので緊張するのではなく、たどうれしかったです。プレーオフは1ホール目で決着がついて私が優勝しましたが、その時ももっとプレーしたくて寂しい気持ちになりました。ただ周りの方々から「おめでとう」と祝福していただいたので、その時に優勝を実感したのを覚えています。このオーガスタナショナル女子アマチュア選手権での優勝は、とにかく楽しんだことと今までたくさんの方々を支えていただけたからこそ、この試合に出場させていただけた感謝の気持ちを忘れなかったことが結果につながったと思います。

最後になりますが、私が世界大会を意識するようになった時から支えてきてくださった皆様、本当にありがとうございました。これからもオーガスタナショナル女子アマチュア選手権で実感した「感謝の気持ち」と「楽しむこと」を大事にしながら前進していきたいと思っています。



マルセンススポーツ賞

格闘技(柔道)・創志学園高等学校女子柔道部



挑戦者 本気を継続する

このたびは、名誉あるマルセンススポーツ賞に選出していただきましてありがとうございます。関係者一同、次への目標達成への活力になっており、賞の重みを感じながら責任を持って活動に尽力しています。

本校女子柔道部は、2010年に創部し現在13年目を迎えているまだまだ歴史の浅いチームになります。創部当初から系列のIPU環太平洋大学女子柔道部と合同で練習をさせていただいており、日々大学の道場で大学生に胸を借りながら稽古に励んでおります。チームとして共有していることは、「あたりまえのことはあたりまえにする」「礼節、克己、信頼、前進、感謝の五訓でいきる」ということです。その中で、全国・世界で活躍する選手を輩出することを目的にしながら、一柔道家として社会貢献できる人材育成を視野に入れ教育していることが、退部者なしや選手それぞれの目標実現につながっていると思います。現状に満足することなく、さらにチームを発展させていくために重要視していることは、この岡山県に恩返しをすることです。3年後の2025年には柔道競技が岡山県でインターハイを開催します。昨年度のインターハイでは、団体個人ともに全国制覇をすることができましたが、原動力になったのはIPU環太平洋大学女子柔道部で総監督をされていた古賀稔彦先生存在です。残念ながら2021年3月にご逝去されましたが、その教えは我々の中で生き続けています。教えていただいたことを私たちが、夢を持っている子どもたちや中高生に伝えながら新しい渦を作っていくことの必要性を感じています。地道なことではありますが、教えを浸透させていながら柔道を愛する人たちとともに協力をし、地元でのインターハイ優勝を実現させたいと強く思っております。

最後になりましたが、平素より応援してくださる岡山県民の皆さまへの感謝の気持ちを持ちながら日々精進していきたいと思えます。引き続き創志学園高校女子柔道部への応援をよろしくお願い致します。

監督 佐野 哲朗



マルセンススポーツ賞

スケート(ショートトラック)・中島 未莉


 マルセンススポーツ賞
 受賞にあたって

このたびは、第19回マルセンススポーツ賞に選んでいただき誠にありがとうございます。

私は小学校でもらったチラシをみて面白そうだなと思い、スケートを始めました。はじめは単に楽しむだけのスケートでしたが、その後、地元のスケートクラブに所属し、本格的に練習に取り組むようになったのは小学5年からでした。

それからは夢中で練習に取り組み、大会でも徐々に結果が出始めました。特に私に大きな影響を与えたのは中学1年で出場した全日本ノービス&ジュニアカップショートトラック選手権大会第1、2戦でともに総合優勝したことです。

全国レベルの大会で優勝できたことで、日本代表になって国際大会に出場することが明確な目標になったのがその頃で、それからは練習に費やす時間も多くなり国民体育大会で優勝、全日本ジュニア選手権でも上位の成績を残すことができました。

今年、中京大学に入学し、7年間お世話になったコーチのもとを離れ、練習環境を変える決断をしました。中京大学は数多くのオリンピック選手を輩出しているトヨタ自動車と日常的に合同練習を行っているため、ハイレベルで厳しい練習に最初は戸惑いましたが、今では充実した日々を過ごしています。

今シーズンも開幕し、ワールドユニバーシティゲームズの代表に選出されました。大学入学後に目標としていた大会への出場が決まりうれしく思いますが、私の大きな目標は、2026年のミラノ・コルティナオリンピックです。

これからも地元の皆さまに応援されるような選手であり続けたいと思っています。岡山県のスポーツの振興および発展に貢献できるよう精一杯頑張りたいと思います。

ショートトラックは、タイムが遅くてもトップでゴールラインを通過すれば良い競技で、レース中の駆け引きが多く、最後まで誰が勝つか分からないドキドキが魅力です。そんな魅力をどんどん発信できたらと思っています。

引き続き、ご支援、ご声援のほど、よろしくお願いします。



写真提供：中京大学「第46回全日本選抜ショートトラック選手権大会」

マルセンススポーツ賞

スケート(フィギュアスケート)・三宅 星南

マルセンススポーツ賞の
受賞にあたって

今回はマルセンススポーツ賞という素晴らしい賞に選出いただき誠にありがとうございます。喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

私は5歳の時に先にフィギュアスケートを始めていた姉について行ったのがきっかけでフィギュアスケートを始めました。始めてからはすぐに夢中になり一日中スケートリンクにいることもありました。そしてフィギュアスケートを始めたヘルスピア倉敷(当時サンピア倉敷)が高橋大輔選手の出身のスケートリンクだったことや、バンクーバーオリンピックでの高橋選手の演技をみて感動したことで、「将来自分もオリンピックに出場したい」と強く思うようになり真剣に競技にうちこむようになりました。

昨シーズンはとても成長できたシーズンになったと思います。

今まではジャンプの安定感と演技後半の持久力が課題でしたが、陸上でのトレーニングを通して身体の使い方が良くなったことによりジャンプ力や持久力の向上につながりました。その結果、昨年の12月に行われた全日本選手権ではオリンピック最終選考会という緊張感のある中で、今までの課題であった4回転ジャンプを成功させることができ、自己最高順位となる6位になることができました。そして今年の1月に初めての出場となった四大陸選手権ではショートプログラム、フリースケーティングともにミス無く演技ができ、パーソナルベストを更新して4位になることができました。

うれしかったのと同時に次のオリンピックに必ず出場したいという気持ちになりました。

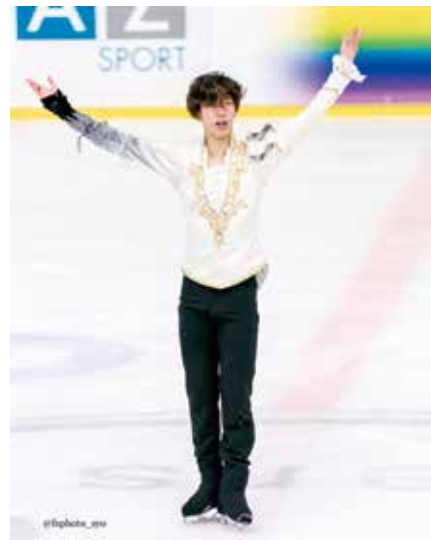
今年は次のオリンピックに向けての1年目になるため土台作りのシーズンにしていきたいと思い、さまざまなことに挑戦したいと思っています。

今まで競技を続ける中で苦しいことや大変なこともたくさんありましたが、家族やコーチの長光歌子先生、地元矢掛町の皆さんなどたくさんの方々のおかげでここまで続けることができました。

常に周囲への感謝の気持ちを忘れずに、2026年に行われる冬季ミラノオリンピックへの出場を目指してこれからも頑張っていきたいと思っています。

また3年後に岡山県で開催される西日本では初の冬季国体でも、岡山県の皆様に感動を与えられる演技をお見せできるよう頑張っていきたいと思っています。

引き続き応援のほどよろしくお願い致します。



マルセン文化賞

音楽(鍵盤楽器 ピアノ)・木口 雄人



心豊かに、心震わせて

このたびは、マルセン文化賞という栄えある賞を賜り、誠にありがとうございます。大きな喜びと同時に、ますます身の引き締まる思いでございます。

2020年にソプラノ歌手・森野美咲さんと挑戦したブラームス国際コンクールでは優勝と最優秀歌曲伴奏賞を、その翌年、2021年スクリャービン国際ピアノコンクールでは最高位をいただき、私にとって飛躍の2年間となりました。しかし実際はどちらもコロナ禍での出来事でしたので、それ以外の演奏機会はほぼ無く、鬱々とした状況でした。しかし、だからこそコンクール期間中は演奏できる幸せを噛み締め、音楽の「心を震わす何か」という根源的なものと純粋に向き合うことができました。この経験は、結果にかかわらず私の人生において非常に重要なものとなりました。

私にとって音楽は、どんなときも寄り添い、苦しみを癒やし、鼓舞してくれる存在です。コロナ禍において、社会から断絶されるロックダウンという稀有な経験をした私は、改めてこの音楽がもつエネルギーを誰かと共有し、この瞬間を分かち合いたい、それこそが私たち音楽家の使命だ、という強い衝動に駆られました。そして2022年、ついにヨーロッパでは文化芸術活動が元通りとなり、日本も段階的ながら活発になってきております。今後は今まで以上、コンサートに来ていただいた方が心震わせ、それがその方によりよい明日へつながってほしい、という強い願いを込め、日本、そしてヨーロッパでの演奏活動を続けてまいる所存です。その中でも故郷・岡山の公演は特別です。これからも岡山の文化芸術の発展に貢献し、より一層この地で生きる・育つ皆様が心豊かに暮らせますように、精進してまいりたいと思います。

最後になりますが、今回の受賞にご尽力くださった皆様、そして日頃から応援してくださる皆様に心からの感謝とさらなる邁進をお約束し、心よりのお礼とさせていただきます。



スクリャービン国際ピアノコンクール本選(2021.7)



岡山県立美術館ホールリサイタル(2021.8)

マルセン文化賞

伝統芸能(映画監督)・山崎 樹一郎



受賞に寄せて

マルセン文化賞をいただきとてもうれしく思います。

映画という芸術を評価していただけたことも大変ありがたく思っています。

都市から離れた真庭という地域で暮らす中で、あふれ、こぼれ落ちる感情を表現に結び付けようとする身としまして、また、映画鑑賞機会が得難い地域で映画を信じ、少しでもその振興を深めたい身としまして、大変励みになります。

そして映画製作や映画振興は決して一人ではできません。これまで関わってきた多くの方々のアイデアや協力なしでは進みません。これまでの多くの仲間、関係者のご助力にあらためて心より感謝したいと思います。

ウクライナでの戦争は終わらず、コロナ禍もいまだ終息しません。暗い気持ちさが社会を包み、なかなか元気になれません。気力や好奇心、想像力が枯渇し、知性なきむき出しの感情が過剰な分断を生み、その連鎖によってさらにしんどくなるのですが、そんなときにこそ文化の力が発揮されると信じています。文化とは自分たちの文化を持つことと同時に、他者の文化を理解することとの両輪だと考えます。自分たちの文化を守り育む一方、イデオロギーやアイデンティティの異なる他者を理解し尊重するということを改めて諦めず、続けていきたいと思っています。

今後とも映画文化をどうぞよろしくお願いいたします。

マルセンスポーツ文化財団の活動に敬意を表し感謝申し上げます。



ホ ッ ト コ ー ナ ー

「ウィズコロナ」の冬、高校アスリート躍動

駅伝倉敷過去最速V

新型コロナウイルス対策の行動制限が大幅に緩和され、スポーツ界も「ウィズコロナ」の時代に突入している。国内初の感染が確認され丸3年となったこの冬、数々の大会が応援自粛などの規制を解除し開催される中、不自由な学校生活の中でひたむきに競技に打ち込んできた高校アスリートが「岡山旋風」を巻き起こした。



沿道の応援に後押しされ、都大路を過去最速タイムで駆け抜けた。昨年12月25日、京都市のたけびしスタジアム京都を発着点に行われた第73回全国高校駅伝男子（7区間42・195㌔）。全国最多となる45年連続出場の倉敷が従来記録を8秒短縮する2時間1分10秒の大会新記録を樹立し、4年ぶり3度目の日本一に輝いた。

エース南坂柚汰（3年）が1区5位と好発進すると、3区のケニア人留学生サムエル・キバティ（2年）が区間新記録の快走で首位に浮上。4区桑田駿介（同）も区間賞で続くなど7人全員が区間5位以内に入り、総合力の高さを見せつけた。普段は辛口な新雅弘監督が「完璧なレース」と手放しでたたえる圧勝だった。

入賞は8年連続でこの間、3位以内の表彰台が6度と強豪の地位を不動にした。今回は都道府県予選で全国トップタイムをマークしたが、選手は誰ひとりとして目標を口外せずそれぞれの役割に集中し、



全国高校駅伝男子で4年ぶり3度目の日本一に輝いた倉敷のメンバー

優勝候補の重圧をはねのけた。

主力3人が残る次回に向けても、まずは県予選で46度目の出場権獲得に全力を注ぐという。新たな勲章を加えてなお、慢心とは無縁の姿勢が伝統校の強さを支えている。3年ぶりの開催となった年明けの全国都道府県対抗男子駅伝では南坂ら優勝メンバーが岡山チームの中核を担い、過去最高の5位入賞を果たした。



100回を超える大会で歴史を刻んだのは、サッカーの学芸館だ。第101回全国高校選手権に2大会連続5度目の出場を果たし、国学院久我山（東



トップでたすきをつなぐ倉敷の3区サムエル・キバティ選手（右）と4区の桑田駿介選手



大会新記録で栄光のゴールテープを切る倉敷のアンカー檜垣蒼選手

サッカー学芸館は岡山勢初の栄冠

京)、神村学園(鹿児島)といった難敵を次々と撃破。岡山勢初の栄冠をつかんだ。

「声出し応援」が応援団エリアに限って3大会ぶりに解禁。1月9日、東京の国立競技場で行われた東山(京都)との決勝は5万人を超える観衆が訪れ、競技場が揺れるような熱気に包まれた。最高の晴れ舞台でイレブンは躍動。1-1で迎えた後半にMF木村匡吾(3年)の2得点でリードを奪い、相手の反撃を主将のDF井上斗嵩(同)、GK平塚仁(2年)を中心にしのぎ切った。

FW今井拓人(3年)が他校のプロ内定選手らと並んで得点王を獲得した。傑出したタレントは不在だが、「攻守の切り替えの速さと、全員のハードワークというチームの土台はどこにも負けていなかった」と高原良明監督。12日間で6試合を戦い抜いた選手たちは、最後まで足を止めることがなかった。

2006年度大会の作陽の準優勝が岡山勢の最高成績だった。岡山サッカー界にとっての悲願を成し遂げたチームは帰岡後、岡山市中心部で凱旋パレードを行い、市民約2000人と快挙を喜び合った。



年末から年始にかけてのスポーツシーンでの岡山勢の活躍は、SNSなどで「岡山旋風」「岡山最強時代」などと話題になった。一方、コロナが原因で涙をのんだチームもある。「春高バレー」として知られるバレーボールの全日本高校選手権女子で3連覇が懸かった就実が試合当日の抗原検査で陽性者が確認されたため、欠場を余儀なくされた。その日のうちに独自で行った検査では陰性だったという。競技によって「ウィズコロナ」の対応に差があり、感染対策とどう折り合いを付けるのか、スポーツ界全体で考えていかなければならない。



全国高校サッカー選手権決勝の後半7分、ヘディングで決勝点を奪う学芸館のMF木村匡吾選手(中央)



岡山市の表町商店街を凱旋パレードする学芸館の選手ら



100回を超える大会で岡山勢初の優勝を飾った学芸館のイレブン

岡山芸術交流と瀬戸内国際芸術祭

コロナ禍乗り越え開催／

2022年は岡山にとって3年に1度の大型芸術祭の当たり年。春から秋にかけて、3回目の岡山芸術交流(芸術交流、9～11月の51日間)と5回目の瀬戸内国際芸術祭(瀬戸芸、4～11月の春、夏、秋の3会期計105日間)が一部会期を重ねて開かれた。新型コロナウイルス禍による困難を乗り越え、回を重ねた現代アートの祭典が地域にもたらしたものを探る。



芸術交流開幕の9月30日、参加作家の半数が集まったトークイベント。芸術監督でタイの美術家・リクリット・ティラヴァーニャさんは感極まり、声を詰まらせた。コロナ禍の入国制限で多くの作家がリモートでの作品製作を強いられただけに、リクリットさんは「集った作家がアートを語る光景は胸に迫った」と後日語った。

来場者は約17万8千人で、コロナ禍前で同じ51日間開催だった2019年の4割減。海外、県外からの来場者数が伸びなかったのが要因という。そうした状況を見越し、実行委は「地元」「子ども」をキーワードに、市民参加を前面に打ち出した。料理などで人をつなげる「リレーショナルアート」の第一人者であるリクリットさんの芸術監督起用も、そうした狙いを反映したといえる。



芸術交流開幕前日、旧内山下小校庭に描かれた公式ロゴマーク「OKK」の人文字

主会場の旧内山下小の校庭で特製のタイカレーを提供したり、体育館に地元表現者が発表するステージを設けたり。リクリットさん自身の出品作に象徴されるように、日常の延長としてアートに触れられる仕掛けは、過去2回とは異なる印象を来場者に与えた。学校単位の鑑賞も104校7300人と前回の5割増しで、各会場には子どもたちの歓声が響いていた。

展示の親しみやすさが強調された一方、従来同様の「尖った」作品も見られた。中国の洞窟に一人暮らす男性や、バングラデシュで殺されたドラァグクイーンのドキュメンタリー映像は独自のタッチで社会の矛盾を指摘し、旧内山下小のプールに横たわる巨大なクマのぬいぐるみも、実は同一線上の主張を秘めていた。さまざまな社会課題に触れるきっかけを多角的に提供することで、現代アート本来のありようも示したといえよう。



コロナ下で開催されたもう一つのビッグイベントが瀬戸芸だ。直島や小豆島、豊島など人気作品が並ぶ島々は、訪日外国人でにぎわった前回(2019年)までとは対照的に、静かな雰囲気だった。のべ来場者数は72万3千人余と芸術交流と同様、前回は4割下回り過去最少だった。



旧内山下小体育館に設けられた「ステージ」では地元表現者が次々と出演した

都市型・地域型 異なる魅力

とはいえ、来日できない作家の作品を地元作家がリモートで完成させた工夫や、感染拡大による混乱もなく長丁場を乗り切ったことは評価されよう。また、玉野市・宇野港会場は商店街などへの新作設置が奏功し、来場者数減少を小幅にとどめた。過去、島々への通過点となっていただけに、市側の働きかけが実を結んだ形だ。

総合ディレクターの北川フラムさんが「島の人と作家、ボランティアが紡いできた関わりを、3年に1度爆発させる祭り」と語るように、瀬戸芸は地域創生のモデルともなってきた。ウィズコロナの状況を踏まえ、「次」へ向けた種まきを続けることが求められている。



先鋭的アートがそろそろ「都市型」の芸術交流と、



瀬戸芸を代表する大作「ゼロ」。夏会期から小豆島に登場した

アートを通じて地域を照らす瀬戸芸。批評家の浅田彰さん（京都芸術大教授）は「性格の異なる二つの芸術祭が岡山を魅力的にしている」と指摘する。さらに新たな文化を花開かせるべく、24年秋、県北部を舞台とした「森の芸術祭」の開催が決まった。



「森の芸術祭」のディレクターに就任した長谷川祐子さん

県や津山市など地元12市町村、JR西日本による実行委が主催し、日本を代表するキュレーターの長谷川祐子さん（金沢21世紀美術館館長）をディレクターに迎えた。県北部を巡った印象を「過度に観光地化されていない魅力的な場所が多い」と長谷川さん。国内で初めて手がける大型芸術祭だけに、「森林や農耕など大地から富を見いだす県北の豊かさを、アートを通じて見せたい」と意気込みを語る。

今後、全国でも屈指の大型芸術祭が集中するエリアとなる岡山。社会に閉塞感が漂う中、それぞれのコンセプトに一層磨きを掛けるとともに、連携を取りながら地域を活気づけていってほしい。

（本文、写真ともに山陽新聞社提供）



瀬戸芸の宇野港会場は市街地にも作品が設置され、回遊性が高まった

第3章 イベントの開催(主催・共催)

岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するため、次の事業を実施しております。

1 スポーツ

- マルセンスポーツ教室

(新型コロナウイルス感染拡大のため実施しておりません)

2 文 化

- マルセン文化教室

(新型コロナウイルス感染拡大のため実施しておりません)

第4章 広報啓発育成事業

競技スポーツ及び芸術性の高い音楽・演劇等の観賞の機会の提供を通じて、スポーツ・文化の振興発展に努めております。

1 啓発育成事業

ア チケットプレゼント

①スポーツ関係

- ◎ 2022 女子バレーボール世界選手権壮行試合日本代表紅白ミズノマッチ in 岡山
 - ・期 日：令和4年8月13日(土)
 - ・期 日：令和4年8月14日(日)
 - ・会 場：ジップアリーナ岡山 ・招待者：各15名 30名 (応募者数175名)
- ◎ 山陽新聞レディースカップゴルフ入場券(寄贈)
 - ・期 日：令和4年9月16日(金) (応募数109)
 - ・期 日：令和4年9月17日(土) (応募数119)
 - ・期 日：令和4年9月18日(日) (応募数142)
 - ・会 場：東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ ・招待者：各100名 300名 (応募者数370名)
- ◎ Vリーグ観戦チケット(岡山シーガルズホームゲーム)
 - ・期 日：令和4年11月27日(日) VS トヨタ車体クインシーズ
 - ・会 場：ジップアリーナ岡山 ・招待者：30名 (応募者数46名)
 - ・期 日：令和5年1月15日(日) VS 東レアローズ
 - ・会 場：ジップアリーナ岡山 ・招待者：30名 (応募者数130名)

②文化関係

- ◎ THEドラえもん展 OKAYAMA2022
 - ・期 日：令和4年4月2日(土)～5月22日(日) ・会 場：岡山県立美術館
 - ・招待者：30名 (応募者数190名)
- ◎ 森野美咲・木口雄人ブラームス国際コンクール優勝記念リサイタル
 - ・期 日：令和4年5月14日(土)
 - ・会 場：ルネスホール
 - ・招待者：30名 (応募者数105名)
- ◎ 生誕100周年記念高木聖雨展
 - ・期 日：令和4年6月3日(金)～7月3日(日) ・会 場：岡山県立美術館
 - ・招待者：100名 (応募者数106名)
- ◎ 木下大サーカス岡山公演
 - ・期 日：令和4年6月26日(日)～9月7日(水) ・会 場：岡山ドーム東隣特設会場
 - ・招待者：30名 (応募者数248名)
- ◎ 第77回春の院展倉敷展
 - ・期 日：令和4年7月2日(土)～7月10日(日) ・会 場：倉敷市立美術館
 - ・招待者：30名(20名) (応募者数132名)
 - ()井手康人氏寄贈分
- ◎ 木村善明 2022Bass Baritone Recital
 - ・期 日：令和4年7月29日(金) ・会 場：ルネスホール
 - ・招待者：30名 (応募者数48名)

第4章 広報啓発育成事業

◎大原美術館入場券(寄贈)

- ・期 日：令和4年8月11日(木)～令和5年3月31日(金)
- ・会 場：本館・工芸・東洋館他
- ・招待者：170組 (応募者数437組)

◎岡山県美術展覧会(寄贈)

- ・期 日：【一期】令和4年9月7日(水)～9月11日(日)
【二期】令和4年9月14日(水)～9月18日(日)
- ・会 場：岡山県立美術館、岡山県天神山文化プラザ
- ・招待者：50名 (応募者数99名)

◎神々の視座-井手康人-

- ・期 日：令和4年10月9日(日)～1月15日(日)
- ・会 場：瀬戸内市立美術館
- ・招待者：100名 (応募者数110名)

◎ミュージカル クリスマスキャロル

- ・期 日：令和4年11月20日(日)
- ・会 場：倉敷市芸文館ホール
- ・招待者：30名 (応募者数233名)

◎映画「やまぶき」鑑賞入場券

- ・期 日：令和4年11月25日(金)～12月1日(木)
- ・会 場：シネマクレール丸の内
- ・招待者：50名 (応募者数230名)

◎ベートーベン第九演奏会 2022

- ・期 日：令和4年12月11日(日)
- ・会 場：岡山シンフォニーホール
- ・招待者：30名 (応募者数184名)

◎再興第107回日本美術院展覧会岡山展入場券

- ・期 日：令和5年1月2日(月)～1月15日(日)
- ・会 場：天満屋岡山店葦川会館
- ・招待者：150名 (応募者数358名)

◎ニューイヤーコンサート

- ・期 日：令和5年1月22日(日)
- ・会 場：岡山シンフォニーホール
- ・招待者：30名 (応募者数244名)

◎The MOST MUSIC FESTIVAL 2023 GALA CONCERT

- ・期 日：令和5年2月26日(日)
- ・会 場：岡山シンフォニーホール
- ・招待者：30名 (応募者数203名)

◎劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」

- ・期 日：令和5年3月25日(土)
- ・会 場：岡山市民会館
- ・招待者：30名 (応募者数358名)

① ホームページ・Facebookを通じての広報

② 広報誌「マルセン」19号の発刊

③ 活動助成団体によるラジオ番組出演(活動状況報告)

◎RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2022」(火・水・木・金)

「あもーれ!マッタリーノ」の中、13時～16時30分の中で10分程度放送

パーソナリティ 火：奥富アナ 水：奥富アナ 木：濱家アナ 金：祖田アナ
坂本アナ 多賀アナ 千神アナ 安井アナ

- ・期 間：令和4年12月20日(火)～令和5年1月17日(火)
- ・出演団体：スポーツ関係 11団体 文化関係 14団体

第4章 広報啓発育成事業

2 協賛・後援事業

ア スポーツ関係

◎ OHK岡山県学童陸上フェスティバル2022

- 主 催：岡山放送(株) ・ 期 日：令和4年7月16日(土)
- 会 場：岡山県陸上競技場「シティライトスタジアム」
- 参加数：507名 ・ 協賛額：100千円

◎ 森口祐子ジュニアゴルフ教室 in 岡山

- 主 催：岡山放送(株) ・ 期 日：令和4年8月19日(金)
- 会 場：東児が丘マリンヒルズカントリークラブ
- 参加数：26名 ・ 協賛額：100千円

◎ 森口祐子シニアゴルフ教室 in 岡山

- 主 催：岡山放送(株) ・ 期 日：令和4年12月9日(金)
- 会 場：後楽ゴルフ倶楽部
- 参加数：28名 ・ 協賛額：100千円

◎ 第41回山陽女子ロードレース大会

- 主 催：(株)山陽新聞社 他 主管 岡山陸上競技協会
- 期 日：令和4年12月18日(日)
- 会 場：岡山市内(岡山県陸上競技場出発着)
- 参加数：274名(ハーフ119名 10Km155名) ・ 協賛額：1,100千円



イ 文化関係

◎ 倉魂!「高校生コミック・イラスト+現代アートコンクール2022」

- 主 催：倉敷芸術科学大学
- 期 日：令和4年5月1日(日)～令和5年3月31日(金)
- 会 場：倉敷芸術科学大学及び関係施設
- 参加数：(応募者数349点 132校) ・ 協賛額：100千円



大賞作品「一目惚れ」

◎ 第73回岡山県美術展覧会

- 主 催：岡山県、山陽新聞社、おかやま県民文化祭実行委員会
- 期 日：令和4年9月7日(水)～10月3日(月)
- 会 場：岡山県立美術館、岡山県天神山文化ホール、津山市立文化展示ホール
- 出点数：2564点(一般応募2254点 招待等310点)
- 参加数：6250名(岡山会場5113名 津山会場1137名) ・ 協賛額：330千円

◎ ALL TIME BEST 矢沢あい展

- 主 催：岡山放送(株)
- 期 日：令和4年11月26日(土)～12月25日(日)
- 会 場：イオンモール岡山5階おかやま未来ホール
- 参加数：17338名 ・ 協賛額：200千円



◎ 特別展「神々の視座-井手康人-」図録作成

- 主 催：井手康人
- 期 日：令和4年10月9日(日)～令和5年1月15日(日)
- 会 場：瀬戸内市立美術館 他市内小中学校学級文庫等配付
- 配 布：1500部 ・ 協賛額：500千円

(写真提供：各主催者)

(II)財団の活動

法人管理

① 会議等

● 評議員会

- (1)臨時第1回評議員会 令和4年6月9日(木)
 - ①令和3年度収支予算(補正)承認の件
 - ②令和4年度収支予算(補正)承認の件
- (2)定時評議員会(書面) 令和4年6月27日
 - ①令和3年度事業報告及び収支決算承認の件
- (3)臨時第2回評議員会(書面) 令和4年9月8日
 - ①候補者佐藤兼郎氏を理事選任する件
- (4)臨時第3回評議員会 令和5年3月20日(月)
 - ①令和4年度収支予算(補正)承認の件
 - ②令和5年度事業計画承認の件
 - ③令和5年度収支予算承認の件

● 理事会

- (1)臨時第1回理事会(書面) 令和4年4月25日
 - ①選考委員選任の件
- (2)定時第1回理事会 令和4年6月9日(木)
 - ①令和3年度収支予算(補正)承認の件
 - ②令和3年度事業報告及び収支決算承認の件
 - ③令和4年度(第19回)マルセンスポーツ・文化賞候補決定承認の件
 - ④令和4年度収支予算(補正)承認の件
 - ⑤定時評議員会を開催する件
- (3)臨時第2回理事会(書面) 令和4年8月25日
 - ①理事選任に伴う臨時第2回評議員会開催の件
- (4)臨時第3回理事会(書面) 令和5年2月17日
 - ①臨時第3回評議員会開催の件
- (5)定時第2回理事会 令和5年3月20日(月)
 - ①令和4年度収支予算(補正)承認の件
 - ②令和5年度事業計画承認の件
 - ③令和5年度収支予算承認の件
 - ④令和5年度スポーツ・文化活動助成事業等承認の件
 - ⑤任期満了に伴う選考委員選任の件
 - ⑥任期満了に伴う事務局長定年再延長承認の件
 - ⑦令和5年度臨時第1回評議員会開催の件

● **監 査** 令和4年5月31日(火)

● **選考委員会**

(1)定時第1回委員会 令和4年5月24日(火)

①第19回マルセン賞候補者選考の件

(2)定時第2回委員会 令和5年2月7日(火)

①令和5年度活動助成事業及び協賛事業選考の件

お知らせ

マルセンスポーツ・文化活動助成事業について

当財団では、スポーツ活動及び文化活動(文化財補修事業を含む)にかかる助成事業を毎年実施しております。

詳細(募集要項)については、「財団ホームページ」及び11月初旬、生涯学習施設に配付する「募集のお知らせ」にてご確認ください。

記

1 助成対象活動

- A スポーツ活動(県民の健康増進・競技力の向上を目的としているもの。)
- B 文化活動(豊かな心の形成(文化芸能・伝統文化・地域文化の振興等)を目的としているもの。)
- C 文化財補修活動(県市町村指定の文化財の緊急補修を要するもの。)

2 募集期間

毎年11月15日から翌年1月20日(期日が土・日曜日の場合は、翌月曜日)

但し、上記■Cについては、随時。

3 助成額

10万円

ただし、文化財の補修等に係る活動については、その都度定める。

4 助成金交付決定の時期 3月下旬

5 審査基準

- ・活動の目的及び内容が当財団の助成目的に沿ったものであること。
- ・活動内容が具体的であるもの。
- ・活動の参加に制限がなく、誰でも参加できるものであること。
- ・概ね1年以上の活動実績があること。
- ・助成金の使途が適切であり、助成の緊要度が認められること。
- ・岡山県内で行われる活動であり、岡山県内に所在する団体・居住する個人が実施すること。

6 留意事項

- ・助成金は、自己又は構成員へ支出する報酬・旅費等及び組織の維持費には充当できません。
- ・反社会的勢力と関係のある団体に該当する場合は、対象となりません。
- ・営利を目的とする活動は、対象となりません。
- ・その他、助成規程・助成事業実施基準をご確認ください。

7 申請書への添付書類(全て写しで可)

- ・組織の設置規程(規約等)
- ・昨年度の決算書、パンフレット、当該年度の事業計画(申請書に記載)
- ・助成審査前確認シート(様式2号)

8 その他

- ・申請書記載内容については、記載例(申請書裏頁)を参照のうえ、作成してください。事業計画欄に団体設置の目的、事業の目標、苦慮している点、成果目標、達成に向けての事業計画に区分し600字以内で簡潔に記載してください。

助成事業申請書等の入手は、財団ホームページから関係申請書をダウンロードしてください。インターネット環境がない場合、財団にご連絡ください。(086-800-0077)

- ・連続しての助成は原則行わないが、実施事業内容の必要性から、複数連続しての助成を行う。(令和3年度から実施)

令和	年度
スポーツ・文化・活動	

助成事業申請書

受付日	
受付番号	

記載例

公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団 様

貴財団の助成を受けるため下記の通り申請いたします。
提供に加え財団役員会又は関係行政機関に開示する
誌等にて公表される場合があることに同意すると共に、助成金の交付条件である①助成事業に採用さ
かに活動報告書を提出することのいずれかでも怠った場合、助成金交付の取消・返金を求められること

いずれかを、○で囲んでください。
※Excel版は選択となっている。
活動区分を最初に選択しないと
申請区分（大・小分類）は選択
できません。

郵便物の送付先
団体宛の住所の場合、その住所先団体
名も記載してください
個人宅の宛名の場合、そのお名前も記
載してください

団体名	(フリガナ) マルマルチョウショウネンヤキウクラブ 〇〇町少年野球クラブ	構成人数	35人	所在地 (市区町村のみ)	岡山市北区	代表者名又は 個人名	(フリガナ) オカヤマ タロウ 監督 岡山 太郎
住所 (連絡先)	〒 700-0023 岡山市北区駅前町〇ー〇ー〇 氏名もしくは、団体名 (〇〇様方)	担当者	同上	担当	同上	担当	同上
(昼間に 連絡可 能もの)	Tel 086 〇〇 〇〇 × × Fax なし	メールアドレス	marusen@yahoo.co.jp	携帯	090 - 〇〇〇〇 - 〇〇 × ×	※担当者のものをご記入ください	
申請区分	大分類 (1 競技スポーツ) 小分類 (軟式野球)	実施時期	年度内の実施時期を記載し てください。	実施場所			

申請について質問させてい
ただける方

平日昼間連絡できる電話番
号・もしくはメール・ファックス
宛名称も記載してください。

活動名	別紙 スポーツ・文化活動一覧から選んでください ※大分類は太字部分	第〇〇回 〇〇町学童親善野球大会	助成を受ける対象の活動名 事業内容や特徴が一目でわかる名称が望ましい。
-----	--------------------------------------	------------------	--

助成を受けて の 事業計画 (600字以内)	設置目的:	●事業計画欄には設置目的、苦慮している点、成果目標、 達成に向けての事業計画に区分し、簡潔に 600 字以内 で記載してください。(別添参照は不可) ●過去に助成を受けたことのある団体等は、成果目標に達 していない(改善すべき)点をより簡潔に記載してください。 複数年実施の場合は事業計画欄に記入(原則、単年度 実施) ※使用フォントはポイント 10.5 以下にしないでください。
	苦慮している点:	
	成果目標:	
	達成に向けての事業計画:	

助成を受けた際の財団名公表の方法

チラシ・ポスター・ホームページでの公表
大会当日のアナウンス。要項への記載等

過去実績	※ 貴団体の設立時期、構成人数、活動内容等(1年以上の活動実績がなければ申請できません) (財団HP「助成事業実施基準」1参照)
------	---

10万円以下の希望額を記入してく
ださい。
※ 助成額は、申請された内容、
規模等を審査して決定しますので、
申請金額と異なる場合があります。

項目	金額 (円)	項目	助成金 当額 (円)	内容
助成希望金額 (10万円)	90,000	会場費	※ 60,000	〇〇グラウンド 8時~17時
参加料 (@5千円×17チーム)	85,000	消耗品費	21,600	@5400円×4ケース
主催者負担額		交際費	45,000	@2500円 18試合
クラブ予算	30,000	消耗品費	※ 10,000	優勝チーム・準優勝チーム
〇〇会助成金	20,000	消耗品費	5,400	優勝チーム
		交際費	7,150	@550円×13個(審判他)
		消耗品費	※ 60,000	@200円×300個
		消耗品費	4,500	ライン用石灰他
		消耗品費	8,070	コピー用紙・プリンターインク代等
		通信費	3,280	案内郵送費
収入合計	225,000	支出合計	225,000	
備考	※年間個人負担額 5,000 円 (※ 130,000) 活動助成金充当額合計			
※収入予算と団体全予算の関係: 同額・一部(全予算額 千円)				

収支は一括計上せず、内訳を
明記してください。
支出経費のうち、活動助成金
から充当を予定している経費には
※印を付けてください。
※同一科目でも活動助成金を充
当する項目とそれ以外は別記し
てください。

収支金額は同額となり、※額計は
財団助成額以上となること。

●「はい」の場合は、その助成
申請先等の名称
●「いいえ」の場合で、過去に申
請したが、不採用の年度(新規
の場合は「新」と記載)

他の助成等を受けていますか?	はい	いいえ	〇〇会	「受の場合」 千円			
他の助成等の申請予定はありますか?	はい	いいえ		「受の場合」 千円			
過去に当財団の助成を受けましたか?	はい	いいえ	平・令	年度	新	「受の場合」 千円	

- 当財団の助成金を充当する項目に ※ を記入してください。
- 備品等を財団の助成金で購入希望の場合、購入予定価格のわかる書類を添付してください。(見積り・カタログ等のコピー等。個別に記載すること。)
- 申請の内容が通年(1年間)に係る事業の場合は、年間予算額を、特定の期間の事業の場合にはその事業に係る予算額を記入してください。
- 収支計画の基となった、昨年収支実績もしくは事業収支を添付してください。
- 申請に当たっては「別紙のとおり」等と省略せず、簡潔にまとめて記載してください。

事業の記録

1 助成の記録

●第18回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額		
R4.1.11 ('21)	スポーツ	2,051千円	8件	6件	360,000円	合 計	22件 2,119,000円 (文化財 281,000円)
	文 化		22件	15件	1,478,000円		
	(文化財)		1件	1件	281,000円		
						累 計	295件 42,247,075円

●第17回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額		
R2.10.15 ('20)	スポーツ	2,051千円	14件	3件	300,000円	合 計	9件 890,340円
	文 化		37件	6件	590,340円	累 計	364件 40,128,075円

●第16回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額		
R1.11.25 ('19)	スポーツ	183万円	15件	8件	779,766円	合 計	19件 1,829,766円
	文 化		28件	11件	1,050,000円		
						累 計	355件 39,237,735円

●第15回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額		
30.10.23 ('18)	スポーツ	204.3万円	15件	10件	953,000円	合 計	21件 2,043,000円
	文 化		28件	11件	1,090,000円	累 計	336件 37,407,969円

●第14回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額		
29.8.28 ('17)	スポーツ	200万円	22件	9件	900,000円	合 計	20件 2,000,000円
	文 化		37件	11件	1,100,000円	累 計	315件 35,364,969円

●第13回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額		
28.11.4 ('16)	スポーツ	208.9万円	20件	9件	851,000円	合 計	22件 2,089,006円
	文 化		52件	13件	1,238,006円	累 計	295件 33,364,969円

●第12回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額		
27.8.26 ('15)	スポーツ	206.8万円	15件	7件	688,020円	合 計	21件 2,067,650円
	文 化		66件	14件	1,379,630円 (うち1件辞退)	累 計	273件 31,275,963円

※文化のうち1件中止

●第11回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額		
26.8.7 ('14)	スポーツ	120万円	21件	12件	1,119,000円	合 計	26件 2,497,000円
	文 化	130万円	57件	14件	1,378,000円		
						累 計	252件 29,208,313円

●第10回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額		
25.10.24 ('13)	スポーツ	100万円	18件	13件	1,300,000円	合 計	30件 3,000,000円
	文 化	100万円	57件	17件	1,700,000円		
						累 計	226件 26,711,313円

●第9回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額
24.8.27 ('12)	スポーツ	100万円	24件	10件	970,000円
	文 化	100万円	56件	14件	1,400,000円

美作国建国1300年記念事業実行委員会 30万円

合 計 25件 2,670,000円

累 計 196件 23,711,313円

●第8回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額
23.7.12 ('11)	スポーツ	100万円	25件	10件	986,000円
	文 化	100万円	46件	11件	1,025,628円

合 計 21件 2,011,628円

累 計 171件 21,041,313円

●第7回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額
22.7.5 ('10)	スポーツ	100万円	11件	8件	717,020円
	文 化	100万円	43件	13件	1,260,000円

第25回国民文化祭おかやま2010 100万円

合 計 22件 2,977,020円

累 計 150件 19,029,685円

●第6回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額
21.7.27 ('09)	スポーツ	100万円	19件	10件	959,115円
	文 化	100万円	42件	14件	1,299,000円

第25回国民文化祭おかやま2010 100万円

合 計 25件 3,258,115円

累 計 128件 16,052,665円

●第5回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額
20.7.29 ('08)	スポーツ	100万円	34件	10件	996,410円
	文 化	100万円	45件	10件	1,000,000円

県立総社南高等学校ダンス部保護者会 100万円

合 計 21件 2,996,410円

累 計 103件 12,794,550円

●第4回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額
19.7.24 ('07)	スポーツ	100万円	31件	10件	964,500円
	文 化	100万円	53件	11件	1,030,000円

合 計 21件 1,994,500円

累 計 82件 9,798,140円

●第3回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額
18.7.21 ('06)	スポーツ	100万円	36件	10件	970,000円
	文 化	100万円	27件	10件	992,000円

合 計 20件 1,962,000円

累 計 61件 7,803,640円

●第2回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額
17.8.3 ('05)	スポーツ	100万円	34件	10件	988,640円
	文 化	100万円	24件	10件	1,000,000円

晴れの国おかやま国体 100万円

合 計 21件 2,988,640円

累 計 41件 5,841,640円

●第1回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額
16.12.14 ('04)	スポーツ	100万円	31件	10件	1,000,000円
	文 化	100万円	15件	9件	853,000円

晴れの国おかやま国体 100万円

合 計 20件 2,853,000円

()内数字は西暦年度

事業の記録

2 表彰の記録

●第18回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
R4.1.11 ('21)	スポーツ	特別賞	井狩 裕貴 就実高等学校女子バレーボール部	水泳 競泳 (個人メドレー) 球技 バレーボール
		賞	大池 水杜 新谷 仁美	自転車 BMX 陸上競技 競走 (長距離)
	文 化	大賞	森野 美咲	音楽 声楽 (ソプラノ)
		賞	岡山史料ネット 中島東松神座 福田 廉之介	文化財 郷土史 伝統芸能 演劇 音楽 弦楽器 (ヴァイオリン)

●第17回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
R2.10.15 ('20)	スポーツ	大賞	渋谷 日向子	球技 ゴルフ
		賞	井狩 裕貴 岡山県立井原高等学校男子新体操部 岡山県立岡山工業高等学校男子弓道部 就実高等学校女子バレーボール部 前田 穂南	水泳 競泳 (個人メドレー) 体操 新体操 射的 弓道 球技 バレーボール 陸上競技 長距離 (マラソン)
	文 化	特別賞	伊藤 宏恵 花柳 大日翠 (黒住倫代)	音楽 声楽 (メソソプラノ) 伝統芸能 日本舞踊
		賞	松山踊り保存会 村中 李衣 (高橋久子)	伝統芸能 無形民俗文化財 文芸 小説・物語

●第16回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
R1.11.25 ('19)	スポーツ	特別賞	平林金属男子ソフトボールクラブ	球技 ソフトボール
		賞	中尾 駿一 長迫 吉拓 西崎 純郎 フィレモン・キブラガット 山根 美千義	水泳 競泳(自由形) 自転車 BMX アニマル 馬術 陸上競技 競走(障害) ウォーター カヌー
	文 化	特別賞	黒井 千左 森野 美咲	美術 陶芸(虫明焼) 音楽 声楽(ソプラノ)
		賞	秋田 美鈴 大森 一樹 備中神楽北山社 藤川 翠香	美術 彫刻(塑像) 総合芸術 バレエ 伝統芸能 舞踊(神楽) 美術 書(かな)

●第15回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
30.10.23 ('18)	スポーツ	栄誉大賞	新田 佳浩	スキー クロスカントリー
		賞	創志学園高等学校女子ソフトボール部 福岡 珠緒 森川 朋哉	球技 ソフトボール アニマル 馬術 パワー 重量挙げ
	文 化	大賞	金重 有邦 菅井 竜也	美術 陶芸(備前焼) 伝統文化 将棋
		賞	内山 詠美子 高月 國光 竹田喜之助顕彰会	音楽 打楽器(マリンバ) 美術 工芸(木工芸) 総合芸能 人形劇

●第14回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
29.8.28 ('17)	スポーツ	特別賞	佐藤 友祈	陸上競技 競走(車いす)
		賞	岡田 直也 倉敷高等学校陸上競技部 第71回国民体育大会弓道競技成年男子岡山県選抜 森定 照広	射的 ライフル射撃 陸上競技 駅伝 射的 弓道 陸上競技 指導者
	文 化	大賞	難波 滋 森 陶岳	美術 洋画 美術 陶芸(備前焼)
		賞	吉備神楽社 木村 善明	無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 声楽(バス・バリトン)

●第13回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
28.11.4 ('16)	スポーツ	賞	梅木 真美	格闘技 柔道
			関西高等学校体操競技部	体操 体操競技
	文 化	大賞	齋藤 愛美	陸上競技 競走
			佐藤 友祈	車いす陸上競技 競走(T52クラス)
		特別賞	高木 聖雨	美術 書道
			島村 光	美術 陶芸(備前焼)
			森山 知己	美術 日本画
		賞	小倉 綾乃	音楽 リード楽器(ハーモニカ)
			玉置 里美	美術 日本画
			寺坂 昌三	美術 書道

●第12回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
27.8.26 ('15)	スポーツ	賞	荒島 夕理	陸上競技
			井上 全悠	卓球競技
	文 化	大賞	原田 裕成	自転車競技
			日本 雄也	水泳競技
			丸本 大翔	ウェイトリフティング競技
			隠崎 隆一	美術 陶芸(備前焼)
		賞	粟利郷太刀踊保存会	無形民俗文化財 伝統芸能
			小野 耕石	美術 版画
			河本 昭政	美術 洋画
			藤本 理恵子	美術 日本画
			森上 光月	美術 書道
			守屋 剛志	音楽 ヴァイオリン

●第11回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
26.8.7 ('14)	スポーツ	賞	小川 晃平	体操競技 新体操
			IPU環太平洋大学女子柔道部	柔道競技
	文 化	特別賞	吉備国際大学女子サッカー部	サッカー競技
			佐々木 美行	スケート競技フィギュアの指導
			野上 竜太	自転車競技
			佐々木 英代	音楽 声楽
		賞	小出 公大	郷土史
			須本 雅子	美術 染織
			藤原 洋次郎	美術 現代アート
			横仙歌舞伎保存会	無形民俗文化財 伝統芸能

●第10回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
25.10.24 ('13)	スポーツ	大賞	荒木 絵里香	バレーボール競技
			福元 美穂	サッカー競技
	文 化	大賞	宮間 あや	サッカー競技
			清水 聡	ボクシング競技
			山口 舞	バレーボール競技
		大賞	水戸岡 鋭治	美術デザイン
		特別賞	佐藤 常子	美術 染織
		賞	上田 久利	美術 彫刻
			岡山パッハカンタータ協会	音楽 合唱
			草間 喆雄	美術テキスタイル
			鴻八幡宮祭りばやし保存会	無形民俗文化財 伝統芸能
			難波 由城雄	美術 写真

事業の記録

●第9回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
24.8.27 ('12)	スポーツ	特別賞	福元 美穂 宮間 あや	サッカー競技 サッカー競技
		賞	奥村 諭志 勝又 雅弘 田中 太郎	自転車競技 陸上競技の振興 ウェイトリフティング競技
	文 化	特別賞	小谷 眞三 森川 星葉	美術 工芸(ガラス) 美術 書道
		賞	池上 わかな 作元 朋子 榎木 和敬 桃太郎少年合唱団	美術 洋画 美術 陶芸 音楽 声楽 音楽 合唱

●第8回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
23.7.21 ('11)	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	小野 陽平 川口 敬二 興譲館高等学校陸上競技部 永木 伸児 中野 真奈美 藤田 健児	テニス競技 自転車競技の指導 陸上競技 空手道競技 サッカー競技 ボクシング競技
	文 化	大賞	重松 清	文芸 小説
		賞	澤田 虚遊 宮内踊保存会	美術 書道 無形民俗文化財 伝統芸能
	特別賞		天満屋女子陸上競技部	陸上競技

●第7回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
22.7.5 ('10)	スポーツ	栄誉大賞	高橋 大輔	スケート競技 フィギュア
		大賞	新田 佳浩	スキー競技 クロスカントリー
		賞	井上 正 県立玉野光南高等学校陸上競技部 皇后杯第28回全国都道府県対抗女子駅伝 岡山県チーム	新体操競技の指導 陸上競技 陸上競技
	文 化	大賞	井手 康人	美術 日本画
		賞	高田神社横野獅子舞保存会 諸星 美喜	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 日本画

●第6回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
21.7.27 ('09)	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	岡山県作陽高等学校ゴルフ部 木村 禎宏 山陽女子高等学校 体操部 平林金属男子ソフトボールクラブ	ゴルフ競技 車いすテニス競技 体操競技 ソフトボール競技
	文 化	大賞	高原 洋一	美術 洋画 版画
		賞	大島の傘踊り保存会 片山 康之	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

●第5回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
20.7.29 ('08)	スポーツ	大賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技
		賞	県立新見高等学校ソフトボール部 県立新見高等学校軟式野球部 福元 美穂 宮間 あや	ソフトボール競技 軟式野球競技 サッカー競技 GK サッカー競技 MF
	文 化	大賞	該当者なし	
		賞	井手 康人 小川 尊一 神代郷土民謡保存会 津山市立北陵中学校吹奏楽部 明誠学院高等学校書道部	美術 日本画 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 吹奏楽 美術 書道

●第4回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
19.7.24 ('07)	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	麻生 薫 岡山県作陽高等学校サッカー部 岡山湯郷Belle 長田 京大 牧野 吉伸	ハンドボール競技の指導 サッカー競技 サッカー競技 新体操競技の指導 ウエイトリフティング競技の指導
	文 化	大賞	山口 松太	工芸 漆芸
		賞	多胡 昭彦 田丸 稔 宮尾 昌宏	天文学 美術 彫刻 工芸 陶芸

●第3回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
18.7.21 ('06)	スポーツ	大賞	高橋 大輔	スケート競技フィギュア
		賞	椿村 正明 古川 興幸 森政 芳寿	ソフトテニス競技の指導 レスリング競技の指導 陸上競技の指導
	文 化	大賞	あさの あつこ	文芸 児童文学
		賞	川島 基 難波 滋 福石神楽団	音楽 ピアノ 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能
	特別賞		岡山県剣道連盟 岡山県山岳連盟 岡山シーガルズ 関西高等学校ボート部	剣道競技 山岳競技 バレーボール競技 ボート競技

●第2回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
17.8.3 ('05)	スポーツ	大賞	水鳥 寿思	体操競技
		賞	石本 直樹 諸見里 しのぶ 横山 純子	ベンチプレス競技 ゴルフ競技 陸上競技の指導
	文 化	大賞	小川 洋子	文芸 小説
		賞	石田 宗之 はやし田植え保存会 濱坂 渉	美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

●第1回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
16.12.14 ('04)	スポーツ	大賞	武富 豊	陸上競技の指導
		賞	土井 美智江 藤原 佳市 柳井 清志	水泳競技(マスターズ) 体操競技の指導 ソフトボール競技の指導
	文 化	大賞	高橋 秀	現代美術
		賞	粟井春日歌舞伎保存会 岡山フィルハーモニック管弦楽団 松本 和将	無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 管弦楽 音楽 ピアノ

()内数字は西暦年度

事業の記録

3 イベントの記録(協賛を含む)

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額
R3 (21)	スポーツ	チケットプレゼント Vリーグ観戦チケット(岡山シーガルズホームゲーム) ・VS 東レアローズ	R3.10.30 ~ R3.10.31	99 75	各 15	105 千円
		Tリーグ観戦チケット(岡山リベッツホームゲーム) ・VS TT 彩たま(福田公園体育館) ・VS KM 東京(同上)	R4.1.8 ~ R4.1.9	57 65	各 20	80 千円
		Vリーグ観戦チケット(岡山シーガルズホームゲーム) ・VS 久光ヒリングス	R4.2.12 ~ R4.2.13	39 32	各 15	105 千円
		協賛 OHK 岡山県学童陸上フェスティバル(岡山県陸上競技場) 主催 岡山放送㈱	R3.7.17	354		200 千円
		森口祐子ジュニアゴルフ教室(東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ) 主催 岡山放送㈱	R3.8.20	25		100 千円
		森口祐子シニアゴルフ教室(後楽ゴルフ倶楽部) 主催 岡山放送㈱	R3.12.8	30		100 千円
		第40回山陽女子ロードレース大会(岡山県陸上競技場、岡山市内) 主催 山陽新聞社他	R3.12.19	266		1,100 千円
	文 化	チケットプレゼント 「ねないこだれだ」誕生50周年記念 せなけいこ展(岡山県立美術館)	R3.4.2 ~ R3.5.9	180	50	45 千円
		いのちの停車場 (県下4館岡山メルパ、イオンシネマ、TOHO シネマ岡南、MOVIX 倉敷)	R3.5.21 ~	251	100 (寄贈 10)	110 千円
		第76回春の院展 倉敷展(倉敷市立美術館)	R3.7.3 ~ R3.7.11	71	30 (寄贈 20)	18 千円
		連載完結記念「約束のネバーランド展」(おかやま未来ホール)	R3.7.3 ~ R3.7.25	一般 57 中小 6	一般 50 中小 6	53 千円
		ヨーロッパ絵画400年の旅「珠玉の東京富士美術館コレクション」 (岡山県立美術館)	R3.7.9 ~ R3.8.29	160	50	50 千円
		第72回岡山県美術展覧会(岡山県立美術館、岡山県天神山文化プラザ)	R3.9.8 ~ R3.10.4	235	70	—
		岡山シンフォニーホール開館30周年記念「スペシャルガラコンサート」 (岡山シンフォニーホール)	R3.9.12	141	50	150 千円
		大原美術館入館券(本館・工芸・東洋館)	R3.9.29 ~ R4.3.31	392	350	—
		第62回岡山日本舞踊協会公演(岡山市民会館)	R3.11.14	38	30	150 千円
		オペラ「森は生きている」(岡山市立市民文化ホール)	R3.12.25	54	20	67 千円
		第106回日本美術院展覧会岡山展(岡山天満屋葦川会館)	R4.1.2 ~ R4.1.16	306	150	105 千円
		倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol7「4人のヴァイオリニストの饗宴」 (倉敷市文芸館ホール)	R4.3.5	中止	(30)	—
		吉田兄弟「三味線だけの世界」(倉敷市文芸館ホール)	R4.3.13	中止	(30)	—
		岡山フィルハーモニック管弦楽団第71回定期演奏会(岡山シンフォニーホール)	R4.3.13	160	20	88 千円
		協賛 倉敷!「高校生コミック・イラスト+現代アートコンクール2021」 (倉敷芸術科学大学、関係施設) 主催 倉敷芸術科学大学	R3.6.1 ~ R4.3.31	338 点 (126校)		100 千円
		ヨーロッパ絵画400年の旅「珠玉の東京富士美術館コレクション」 (岡山県立美術館) 主催 RSK山陽放送	R3.7.9 ~ R3.8.29			名義後援
		第72回岡山県美術展覧会 (岡山県立美術館、天神山文化プラザ、津山市立文化展示ホール) 主催 岡山県、山陽新聞社他	R3.9.8 ~ R3.10.4	6226		330 千円
		第三回紅梅忌(詩人永瀬清子生家) 主催 NPO 法人永瀬清子生家保存会	R4.2.20	60		90 千円
		めざましクラシック in 岡山(岡山市民会館) 主催 岡山放送㈱	R4.3.5	1527		200 千円
	スポーツ	支援事業 岡山リベッツ青春ドリームマッチ支援(岡山武道館)	R2.9.29	—	—	100 千円
		協賛 森口祐子ジュニアゴルフ教室(東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ) 主催 岡山放送㈱	R2.8.21	—	—	100 千円
		森口祐子シニアゴルフ教室(後楽ゴルフ倶楽部) 主催 岡山放送㈱	R2.12.9	—	—	200 千円
		第39回山陽女子ロードレース(岡山市内) 主催 山陽新聞社 主管 岡山陸上競技協会	R2.12.20	—	—	1,100 千円
		晴れの国おかやま 24時間 100キロ歩行 2020(岡山市 ~ 備前市) 主催 同実行委員会	R2.5.3 ~ 5.4	中止		
		チケットプレゼント Vリーグ観戦チケット(岡山シーガルズホームゲーム) ・VS NEC レッドロケッツ(新型コロナウイルス中止) ・VS 日立リヴァーレ(新型コロナウイルス中止) ・VS 東レアローズ ・VS PFU ブルーキャップ	R3.1.9(中止) R3.1.10(中止) R3.1.16 R3.1.17	160	30	105 千円
		協賛 倉敷!「高校生コミック・イラストコンクール2020」 主催 倉敷芸術科学大学	R2.6.1 ~ R3.3.31	—	—	100 千円
R2 (20)	文 化	マイセン動物園展 主催 岡山放送㈱	R2.12.4 ~ R3.1.31	—	—	200 千円
		旧閑谷学校創学350年記念事業 市民ミュージカル・ファンタジー 「閑谷の森の物語キッズ」(備前市市民センターホール) 主催 同実行委員会	R2.12.20	—	—	200 千円
		誰も知っているのに、誰も知らない岡山の文化ライブトークセッション 2021(おかやま未来ホール) 主催 おかやま歴史文化伝承委員会	R3.2.16	中止		
		チケットプレゼント 第75回春の院展(倉敷市立美術館)	R2.7.4 ~ 12	119	50 (20)	18 千円
		The 備前 土の炎から生まれた造形美(岡山県立美術館)	R2.10.10 ~ 11.8	64	50	21 千円
		白馬のゆくえ 近代日本洋画の黎明(高梁市立成羽美術館)	R2.9.5 ~ 11.29	36	20	16 千円
		第67回日本伝統工芸展岡山展(岡山県立美術館)	R2.11.13 ~ 11.29	83	50	23 千円

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額
R2 (20)	文 化	マイセン動物園展（岡山県立美術館）	R2.12.5～R3.1.31	100	100	81 千円
		岡山フィルハーモニック管弦楽団特別演奏会 （岡山シンフォニーホール）	R2.12.6	121	30	99 千円
		ホキ美術館名品展（岡山シティミュージアム）	R2.12.18～R3.2.23	191	50	45 千円
		再興第 105 回院展岡山展（岡山天満屋）	R3.1.2～1.17	157	150	105 千円
		岡山フィルハーモニック管弦楽団ニューイヤーコンサート （岡山シンフォニーホール）	R3.1.17	178	30	99 千円
		天神日舞（能楽堂ホール Tenjin9）	R3.1.30	89	20	72 千円
		～世界に向けて～岡山の情景を音楽で語る旅 （岡山シンフォニーホール）	R3.2.4	52	20	30 千円
		雪舟と玉堂ふたりの里帰り（岡山県立美術館）	R3.2.10～3.14	226	50	60 千円
R1 (19)	スポーツ	マルセンスポーツ教室「ファジアーノ岡山サッカー教室」 後援 岡山市 講師 脇谷誠、山崎有斗、田中宏昌コーチ等（ファジアーノ岡山） （イコットニコット屋上フットサルコート）	R1.11.23	33	30	63 千円
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC）	R1.9.20～R1.9.22	293	200 組 400	現物寄贈
		Vリーグ観戦チケット（岡山シーガルズホームゲーム） ・VS 日立ヴェーレ ・VS デンソーエアリービーズ	R1.12.21 R1.12.22	192	各 50	225 千円
		協賛・名義後援 第 38 回山陽女子ロードレース（ハーフ、10Km） （山陽新聞社他 岡山市内）	R1.12.15	—	—	1,100 千円
		第 4 回おかやまスポーツフェスティバル	開催中止（R2.3.8）	—	—	—
	文 化	マルセン文化教室 「第 7 回井手康人日本画教室」 後援 岡山県教育委員会、日本美術院 講師 井手康人（同人） 藤田和美（院友） （山陽新聞社カルチャープラザ 作品展示 倉敷市立美術館） 「大原美術館解説員に名画を学ぶ研修会」 講師 森川政典、岡崎翔太 （大原美術館本館、新児島館（仮称）、語らい座大原本邸 他）	R1.6.22	26	26	130 千円
		「第 8 回井手康人日本画教室」 後援 岡山県教育委員会、日本美術院 講師 井手康人（同人） （岡山県天神山文化プラザ 作品展示 天満屋岡山店・ICOTNICOT）	R1.11.2	47	28	65 千円
		「第 8 回井手康人日本画教室」 後援 岡山県教育委員会、日本美術院 講師 井手康人（同人） （岡山県天神山文化プラザ 作品展示 天満屋岡山店・ICOTNICOT）	R1.12.22	30	30	138 千円
		チケットプレゼント 第 74 回春の院展倉敷展（倉敷市立美術館）	R1.6.29～7.7	85	50	30 千円
		舞台「ペコロスの母に会いに行く」（岡山市民会館）	R1.10.2	151	15	現物寄贈
		岡山フィルハーモニック管弦楽団第 62 回定期演奏会 「ジャン・チャムル! 岡フィルと共演」（岡山シンフォニーホール）	R1.10.20	134	30	108 千円
		東儀秀樹×古澤巖×coba コンサートツアー（岡山市民会館）	R1.12.9	240	15	105 千円
		再興第 104 回院展岡山展（天満屋岡山店葦川会館）	R2.1.2～1.15	334	140	105 千円
		第 33 回倉敷音楽祭「倉敷のウィルトゥオーゾ vol5」（倉敷芸文館）	開催中止（R2.3.15）	70	予定 30	—
		同「AUNJ クラシック・オーケストラ CONCERT2020」 ～THIS IS AUNJ!～（倉敷芸文館）	開催中止（R2.3.17）	74	予定 20	—
		岡山フィルハーモニック管弦楽団第 63 回定期演奏会 「日本の音楽界の将来を担う若手音楽家が岡山に集合!」 ～奇跡の瞬間を見逃すな!～（岡山シンフォニーホール）	開催中止（R2.3.22）	80	予定 30	—
		協賛 倉敷!「高校生コミック・イラストコンクール 2019」 （倉敷芸術科学大学 関係施設）	R1.6.1～R2.3.31	—	—	100 千円
		「高橋秀・藤田桜・素敵ふたり」展（倉敷市立美術館）	R1.9.14～10.22	—	—	100 千円
		表町・街なか美術館 きらぼしアート展（岡山市表町商店街一帯）	R1.9.27～10.3	—	—	100 千円
	スポーツ	マルセンスポーツ教室「岡山リベッツの卓球教室」 後援 岡山市 講師 上田仁・三部航平・有田洋巳選手、白神宏佑監督 （岡山リベッツ卓球スポット岡山店）	31.1.27	150	70 （午前・午後 各 35）	312 千円
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC）	30.9.14～30.9.16	293	200 組 400 名	現物寄贈
		Vリーグ観戦チケット（岡山シーガルズホームゲーム） ・VS KOROBÉ アクアフェアリーズ ・VS トヨタ車体クインシーズ （ジップアリーナ岡山）	31.1.26 31.1.27	224	各 30	135 千円
		Tリーグ観戦チケット（岡山チベッツホームゲーム） ・VS KM 東京 ・VS TT 彩たま （岡山武道館）	31.2.16 31.2.17	426	各 50	200 千円
		協賛・後援 第 37 回山陽女子ロードレース大会 （山陽新聞社他 岡山市内）	30.12.23	—	—	1,080 千円
		第 3 回おかやまスポーツフェスティバル（名義後援） （岡山県総合グラウンド、児島マリンプール）	31.3.3	—	—	—
		岡山県文化連盟「おかやま文化芸術アソシエイツ」（共催） ～おかやま子どもみらい塾 （大原美術館・倉敷市立黒崎中学校）	31.1.10 31.1.15	—	25	—
		マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象（作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」） ・中高生対象（作品展示 天満屋岡山店葦川会館「院展会場」） 後援 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人（同人） 藤田和美（院友） beyond2020 認証事業 （岡山市北ふれあいセンター、山陽新聞社）	（社会人） 30.6.23 （中高生） 30.12.22	—	（社会人） 18 （中高生） 36	267 千円
30 (18)	文 化					

事業の記録

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額	
30 (18)	文 化	チケットプレゼント 第 73 回春の院展倉敷展（倉敷市立美術館）	30.6.27 ～ 30.7.8	122	50	30 千円	
		ポーラ美術館コレクション「モネ、ルノワールからピカソまで」 （岡山県立美術館）	30.7.6 ～ 30.8.26	483	270	50 千円	
		松本和将の世界音楽遺産ドイツ・ロマン編～くらをめぐって～ （ルネスホール）	30.11.4	131	30	90 千円	
		ベートーベン「第九」演奏会（創立 15 周年記念事業） （岡山シンフォニーホール）	30.12.9	198	30	108 千円	
		再興第 103 回院展岡山展（天満屋岡山店葦川会館）	31.1.2 ～ 31.1.14	569	250	90 千円	
		秀桜基金留学賞の 10 年（岡山県立美術館）	31.1.18 ～ 31.2.24	70	50	25 千円	
		倉敷音楽祭「人形浄瑠璃」～文案～（倉敷市芸文館）	31.3.8	124	30	81 千円	
		同「倉敷のヴァルトゥオーゾ Vol 4 3 大ピアノトリオを聞く!」 （倉敷市芸文館）	31.3.17	90	30	54 千円	
		協賛・後援 おかやま子どもみらい塾（協賛） （大原美術館・倉敷市立黒崎中学校）	31.1.10 31.1.15	—	—	100 千円	
		倉魂「高校生コミック・イラストコンクール 2018」（名義後援） （倉敷芸術科学大学及び関係施設）	30.6.1 ～ 31.3.31	—	—	—	
共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2018」（㈱成通提供） 助成団体活動状況報告 20 団体	30.11.19 ～ 30.12.12	—	—	—		
29 (17)	ス ポー ツ	マルセンスポーツ教室「岡山シーガルズのバレーボール教室」 後援 岡山市 講師 川畑愛希選手 檜崎慈恵選手 神田千絵コーチ （万成病院体育館（M ホール））	29.8.6	30	26	107 千円	
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC）	29.9.15 ～ 29.9.17	315	200 組 400 名	現物寄贈	
		協賛 第 27 回全日本古希軟式野球大会岡山大会 （岡山県選抜軟式野球連盟 倉敷市運動公園他 7 会場）	29.10.28 ～ 29.10.31	—	—	100 千円	
		第 36 回山陽女子ロードレース大会 （山陽新聞社他 岡山市内）	29.12.23	—	—	1,080 千円	
	文 化	岡山県文化連盟「おかやま文化芸術アソシエイツ」（共催） （旧文化のつどい） 文化芸術交流実験室（奈義町伝統文化等研修施設）	30.1.8	—	35	100 千円	
		マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象（作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」） ・中高生対象（作品展示 天満屋岡山店葦川会館「院展会場」） 後援 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人（同人） 藤田和美（院友） beyond2020 認証事業 （岡山県生涯学習センター美術教室）	（社会人） 29.6.11 （中高生） 29.12.24	—	（社会人） 23 （中高生） 27	199 千円	
		マルセン文化教室「白井洋輔氏とともに閑谷学校と津田永忠の事跡を巡る研修会」 講師 白井洋輔（備前ミュージアム館長） （和意谷池田家墓所 鏡の州 閑谷学校 田原井堰 石の懸樋 等）	29.10.28	38	30	172 千円	
		チケットプレゼント 第 72 回春の院展倉敷展（倉敷市立美術館）	29.6.28 ～ 29.7.9	30	30	18 千円	
		川島基ピアノリサイタル（岡山県立美術館ホール）	29.9.9	10	10	30 千円	
		再興第 102 回院展岡山展（天満屋岡山店葦川会館）	30.1.2 ～ 30.1.14	222	150	90 千円	
		備中温羅太鼓（総社市民会館）	30.2.8	59	10	25 千円	
		第 32 回倉敷音楽祭「倉敷のヴァルトゥオーゾ Vol 3」 ～倉敷ゆかりの若手プレーヤーによる室内楽コンサート～ （倉敷芸文館）	30.3.18	120	30	54 千円	
		協賛 日本工芸会中国支部創立 60 周年記念図録 （日本工芸会中国支部 天満屋岡山店 県立美術館）	29.5.24 ～ 29.6.25	—	—	300 千円	
		備前細工物「きのう・きょう・あした」 （備前細工物展実行委員会 備前ミュージアム）	29.6.29 ～ 29.9.3	—	—	300 千円	
		岡山女声合唱団「華」 日本のうた・こころのうた 20 年のあゆみ記念コンサート （岡山女声合唱団「華」 岡山シンフォニーホール）	29.10.1	—	—	150 千円	
		岡山市民ミュージカル「オランダおイネあじさい物語」 （山陽放送㈱岡山シンフォニーホール）	29.11.19	—	—	100 千円	
		第 9 回全国高校生現代アートビエンナーレ～絵画・イラスト～ （倉敷芸術科学大学 倉敷市立美術館）	29.12.16 ～ 29.12.24	—	—	100 千円	
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2017」（㈱成通提供） 助成団体活動状況報告 20 団体	29.10.16 ～ 29.11.8	—	—	—
		ス ポー ツ	マルセンソフトテニス教室 主管 岡山県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部 後援 岡山県ソフトテニス連盟 講師 大庭彩加（山陽新聞倉敷支社） 杉本 瞳（職員） 深澤昭恵・森原可奈（東芝姫路所属） （岡山県総合グラウンド内 南テニスコート）	28.6.18 28.6.26	—	18 日 4 校 33 名 26 日 5 校 35 名	265 千円
			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC）	28.9.16 ～ 18	410	200 組 400 名	現物寄贈
			協賛 第 2 回岡山県武道フェスタ （岡山県武道団体連合会 岡山武道館他）	28.12.4	—	—	200 千円
	第 35 回山陽女子ロードレース大会 （岡山県体育協会 山陽新聞社他 岡山市内）		28.12.23	—	—	1,080 千円	
	日中友好卓球交流会 （瀬戸内日中友好卓球交流会 ねや卓球道場・坂出体育館）		29.3.26 ～ 29.4.1	—	—	100 千円	
	共 通		RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2017」（㈱成通提供） 助成団体活動状況報告 20 団体	29.10.16 ～ 29.11.8	—	—	—
	共 通		RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2017」（㈱成通提供） 助成団体活動状況報告 20 団体	29.10.16 ～ 29.11.8	—	—	—

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額
28 (16)	文 化	岡山県文化連盟・文化講演会（共催） 「文化のつどい」 「青木研岡山でスウィングする」4 弦バンジョーの世界 （天神山文化プラザホール）	28.12.2	—	—	—
		マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・ 社会人対象（作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」） ・ 高校生対象（作品展示 天満屋葦川開館「院展会場」） 後援 岡山県教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人（同人） 藤田和美（院友） （岡山県生涯学習センター美術教室）	28.6.3 28.12.23	—	（社会人） 24 名 （高校生） 25 名	297 千円
		チケットプレゼント 川島基ピアノリサイタル（ルネスホール）	28.5.1	79 組 157 名	20 組 40 名	120 千円
		チケットプレゼント 第 71 回春の院展倉敷展（倉敷市立美術館）	28.6.29 ～ 7.10	120 名	30 名	現物寄附
		チケットプレゼント マイ・ハート in さん太（山陽新聞社さん太ホール）	28.8.24	203 名	100 名	現物寄附
		チケットプレゼント 種まく旅人～夢のつぎ木～（ロケ地：赤磐市他 上映：県下 6 映画館）	28.10.22 ～	381 組 761 名	100 組 200 名	200 千円
		チケットプレゼント 再興第 101 回院展岡山会場 50 回記念展（天満屋葦川会館）	29.1.2 ～ 15	334 名	100 名	60 千円
		チケットプレゼント 第 31 回倉敷音楽祭 倉敷のヴィルトウォーゾ Vol.2 室内楽コンサート （倉敷芸文館）	29.3.18	143 名	30 名	54 千円
		協賛 倉魂！「高校生コミック・イラストコンクール 2016」 （倉敷芸術科学大学 倉敷市立美術館）	28.6.1 ～ 29.3.31	—	—	100 千円
		岡山県演奏家協会生誕 50 周年を祝して ～岡山と共に 50 年そして宙へ～ （岡山県演奏家協会 岡山シンフォニーホール）	28.10.10	—	—	300 千円
		岡山の美術特別企画「梅一輪 島村光 金重有邦 隠崎隆一展」 （岡山県立美術館）	29.2.1 ～ 29.3.12	—	—	300 千円
	共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団！ 2016」（㈱成通提供） 助成団体活動状況報告 21 団体	28.11.14 ～ 12.27	—	—	—
27 (15)	ス ポー ツ	高体連ソフトテニス専門部強化事業に職員派遣	27.8.10 ～ 11	—	—	—
		マルセン子どもスケート教室 共催 倉敷市スケート協会フィギュア部 後援 県教育委員会、倉敷市教育委員会、岡山県スケート連盟 ゲストスケーター無良崇人選手（日本スケート特別強化選手（洋菓子のヒロ タ所属）） （ヘルスピア倉敷アイスアリーナ）	27.8.17 ～ 18	—	17 日 49 名 18 日 39 名	—
		プロバスケットボール試合（共催） 「高松ファイブアローズ対金沢武士団」 （ジップアリーナ岡山（岡山県立体育館））	28.3.19	—	—	378 千円
		チケットプレゼント		40	40	
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC）	27.9.19 ～ 20	530	200 組 400 名	現物寄贈
		第 34 回山陽女子ロードレース大会（協賛） （岡山市内）	27.12.23	—	—	1,080 千円
	文 化	岡山県文化連盟・文化講演会（文化のつどい）（名義共催） 「アート、文学、おかやま私を育んだ岡山の文化」 講師 原田マハ（作家）	27.9.17			
		チケットプレゼント フェルメール光の王国展（岡山市シティミュージアム）	27.4.14 ～ 5.6	307	40 組 80 名	
		倉魂！高校生コミック・イラストコンクール 2015（協賛） 主催 倉敷芸術科学大学 （倉敷市倉敷公民館 1F 展示室）	募集 27.6.1 ～ 27.8.31 展示 27.12.2 ～ 6	416 点 (168 校)	入選 52 点 うち 20 点受賞 (大賞等)	100 千円
		岡山カルチャーゾーン 30 周年記念事業（協賛） 「岡山カルチャーゾーンの魅力」 （岡山県立博物館及び後楽園を中心としたカルチャーゾーン一帯）	27.7.16 ～ 9.13	—	入館者数 6,779 名	100 千円
		岡山県文化連盟設立 10 周年記念×天神山文化プラザ開館 10 周年記念（協賛） 「オペラファンタジー“ヘルゼンとグレーテル”」 （岡山県天神山文化プラザホール）	27.10.31 27.11.1	—	参加者 1 回 236 名 2 回 240 名	—
		チケットプレゼント 再興第 100 回院展岡山展（天満屋岡山店 6 階葦川会館）	28.1.2 ～ 1.17	458	100 組 200 名	現物寄贈
		チケットプレゼント 倉敷のヴィルトウオーゾ ピアノクインテット（倉敷市芸文館）	28.3.12	126	50 組 100 名	180 千円
	共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団！ 2015」（㈱成通提供） 助成団体活動状況報告 21 団体	27.9.28 ～ 12.14	—	—	—
26 (14)	ス ポー ツ	第 10 回岡山中央スポーツ少年団ソフトボール交歓大会（協賛）	26.4.13	—	—	10 千円
		第 30 回全国選抜フットサル大会（協賛） （きびアリーナ）	26.9.13 ～ 15	—	—	100 千円
		マルセンバスケットボール教室（共催） 主管 県中学生バスケット連盟 （倉敷市立東中学校体育館）	26.9.15	—	42	240 千円
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC）	26.9.20 ～ 21	278	190	現物寄贈
		プロバスケットボール試合（共催） 「高松ファイブアローズ対大阪エヴェッサ」 （備前市総合運動公園体育館）	26.11.2	—	—	378 千円
		チケットプレゼント（同）		11	8	現物寄贈

事業の記録

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額
26 (14)	スポーツ	第33回山陽女子ロードレース大会（協賛） （岡山市内）	26.11.16	—	—	1,080 千円
	文 化	第10回沙美アートフェスト（協賛） （倉敷市沙美海岸 倉敷市立美術館）	26.5.10	—	—	100 千円
		チケットプレゼント 親子で学ぶてんまや水族館 「オーストラリアの海とクレートバリアリーフの世界」 （天満屋岡山店 6 階葦川会館）	26.8.6 ~ 25	188	50組 100名	—
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」（共催） 講演「音楽と私」講師 川島基氏（東京音楽大学ピアノ科専任講師） 聞き手 西田多江（フリーアナウンサー） （ルネスホール）	26.8.7	—	—	150 千円
		マルセン親子写真教室（主催） 講師 難波由城雄氏（第10回マルセン文化賞受賞者） （龍の森グリーンシャワーの森）	26.9.27	10 組	10組 22名	88 千円
		池田綱政公 300 年遠諱記念事業（協賛） 特別展 護国山曹源寺〜岡山藩主池田氏菩提寺の至宝と文化〜 （岡山県立博物館）	26.10.10 ~ 11.16	—	—	300 千円
		倉魂！高校生コミック・イラストコンクール 2014（協賛） 主催 倉敷芸術科学大学 （倉敷公民館）	26.11.26 ~ 30	—	—	100 千円
		チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第 46 回定期演奏会 （岡山シンフォニーホール）	27.1.24	250 通	20組 40名	190 千円
		倉敷ダニエル・オストの花と心 一西洋と日本の架橋—（名義協賛） （倉敷大原家本邸 / 有隣荘（旧別邸） 大原美術館工芸・東洋館中庭）	27.3.1 ~ 4	—	—	名義
		チケットプレゼント 同上		575 通	100名	現物寄贈
		チケットプレゼント トーマスメヤンソン生誕 100 年記念「ムーミン展」 （岡山県立美術館）	27.3.20 ~ 4.19	779 通	150組 300名	現物寄贈
	共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2014」（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 22 団体	26.9.3 ~ 11.19	—	—	—
25 (13)	スポーツ	厚生労働大臣杯争奪第 63 回全日本実業柔道団体対抗大会（協賛） （岡山県体育館 桃太郎アリーナ）	25.6.15 ~ 16	—	—	100 千円
		第 36 回岡山県道場少年剣道大会（後援） （倉敷市玉島の森体育館）	25.6.22	—	—	名義
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC）	25.9.21 ~ 22	258 通	145名	現物寄贈
		チケットプレゼント プロバスケットボール試合（共催） 「高松ファイブアローズ対島根スサノオマジック」 （備前市総合運動公園体育館）	25.10.27	43 通	20名	350 千円
		「第 32 回山陽女子ロードレース大会」（協賛） （岡山市内）	25.12.23	—	—	1,050 千円
		成通グループ・（公財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	26.3.2	—	96名	—
		チケットプレゼント 東北楽天ゴールデンイーグルス主催プロ野球オープン戦 （マスカットスタジアム）	26.3.4 / 3.5 / 3.7 / 3.8 / 3.9	1,203 通	50名	現物寄贈
		「第 9 回沙美アートフェスタ」（協賛） （倉敷市沙美海岸）	25.5.11	—	—	100 千円
	文 化	チケットプレゼント 大野雄二&ルパンティック・ファイブルパンティック・ジャズナイト （岡山シンフォニーホール）	25.5.17	265 通	25組 50名	175 千円
		The Wave Quartet マリンバ・リサイタル／マスタートークラス（協賛） （公社）岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」（共催） 講演「美作国建国 1300 年〜津山洋学・知は海より来る〜」白井洋輔氏（元 吉備国際大学教授） （天神山文化プラザホール） 講演「日本から始まった柔道文化」古賀稔彦氏（環太平洋大学教授（柔道家・ 医学博士）） （天神山文化プラザホール）	25.7.17	—	—	100 千円
		創立 10 周年記念「表彰者色紙展 / 自然と遊ぶ・写真展」（主催） 第 1 回〜第 9 回までのスポーツ・文化大賞等の揮毫色紙及び信朝寛監事の 写真展示 （天神山文化プラザ）	25.7.20 / 9.19	—	—	390 千円
		書籍プレゼント 「卑弥呼は近江か出雲か吉備か」	25.8.13 ~ 8.18	—	—	883 千円
		倉魂！高校生コミック・イラストコンクール 2013（協賛） （天満屋倉敷店 6 階）	~ 26.2.8	179 通	28名	現物寄贈
		如月 水墨画展（後援） （さん太ギャラリー）	25.10.6 ~ 7	—	—	100 千円
		25.10.1 ~ 10	—	—	名義	
		書籍プレゼント みんなで学ぶ「ふるさと美作のあゆみ」	~ 26.2.8	71 通	10名	15 千円
24 (12)	スポーツ	チケットプレゼント 「レオナルド・ブジタとパリ 1913-1931」展 （岡山県立美術館）	26.2.21 ~ 4.6	336 通	150組 300名	現物寄贈
		RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2013」（株）成通提供） 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ~ 12.17	—	—	—
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ（東児が丘マリンヒルズ GC）	24.9.15 ~ 16	153 通	120枚	200 千円
		第 2 回航空フェア 2012（協賛） フライトシュミレーターによる少年航空教室 （岡山県岡南飛行場）	24.11.11	106	106名	420 千円
		成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 （マスカットスタジアム）	24.11.11	29 チーム	200名	—

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額
24 (12)	スポーツ	「第31回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	24.12.23	—	—	1,050 千円
		チケットプレゼント 女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 (笠岡体育館・桃太郎アリーナ)	25.2.9・10 3.2・3	532	80名	280 千円
		第61回備前市えびす駅伝競走大会(協賛)	25.2.11	—	—	50 千円
		成通グループ・(財)マルセンススポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	25.3.3	4 チーム	95名	—
	文 化	「第8回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	25.5.12	50 点	50	100 千円
		チケットプレゼント マルク・シャガール展 - 愛をめぐる追想 - (岡山県立美術館)	24.7.13 ~ 8.26	479 通	204名	現物寄附
		チケットプレゼント 前橋汀子ヴァイオリンリサイタル (岡山シンフォニーホール)	24.10.5	275 通	50名	175 千円
		倉魂! 高校生コミック・イラストコンクール 2012 (協賛) (加計美術館)	24.10.6 ~ 28	300 点	100点	100 千円
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「福祉と文化」講師 江草安彦氏(旭川荘) 演奏/桃太郎少年合唱団 (ルネスホール)	24.10.6 24.11.17	—	—	300 千円
		「本物の心に残る音楽を」講師 守屋剛志(ヴァイオリニスト) 演奏/ピア ノ中山恵氏 (天神山文化プラザ)				
		マーチング・イン・オカヤマ(協賛) (岡山駅前・さん太広場・表町商店街・石山公園・岡山市総合文化体育館)	24.10.7 ~ 8	—	—	40 千円
		チケットプレゼント 人形浄瑠璃「文楽」(倉敷芸文館)	25.3.9 昼・夜の部・	174 通	20名	80 千円
		美作国県建国 1300 年記念事業(協賛)	25.3.22	—	—	現物寄附
		「第30回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	23.12.23	—	—	1,050 千円
	スポーツ	成通グループ・(財)マルセンススポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (倉敷マスカット球場)	24.3.4	—	88名	—
		チケットプレゼント プロ野球オープン戦 (倉敷マスカット球場)	24.3.10 24.3.11	305 581	46 46	— —
23 (11)	文 化	「第7回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	23.5.14	—	—	100 千円
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「伝統文化を学びなおす - 和魂ルネサンス」 講師 梶田勲一氏(環太平洋大学長)(ルネスホール)	23.8.22、8.24	—	—	300 千円
		「表現と未来」 講師 坂手洋二氏(劇作家・演出家)(天神山文化プラザホール)				
		マーチング・イン岡山(協賛) (岡山駅前・さん太広場他)	H23.10.9 ~ 10	—	—	40 千円
		「川島基&松本和将スーパーピアノデュオリサイタル」 (岡山シンフォニーホール)	23.11.3	2,326	1,700名	2,178 千円
		岡山県民俗芸能大会(協賛) (奈義町文化ホール)	23.11.19 ~ 20	—	—	100 千円
		「男子第49回女子第40回 西日本学生ハンドボール選手権大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山総合グラウンド体育館)	22.7.10 ~ 14	—	—	20 千円
22 (10)	スポーツ	マルセン小学生ソフトボール教室の開催 (岡山ドーム)	22.8.5	—	92名	288 千円
		「第29回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	22.12.23	—	—	1,050 千円
		チケットプレゼント 女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 (桃太郎アリーナ)	23.3.13	410	100名	250 千円
		「第6回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	22.5.15	—	—	100 千円
	文 化	岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「音楽と私」ピアニスト 松本 和将氏 「音楽と私」メソソプラノ 伊藤 宏恵氏 「彫刻の見方」彫刻家 蛭田 二郎氏	22.8.25、8.28、9.1	—	—	470 千円
		チケットプレゼント 「川島 基ピアノリサイタル」 (さん太ホール)	22.9.26	—	30名	105 千円
		チケットプレゼント 特別展「モネとジヴェルニーの画家たち」	23.2.25 ~ 4.10	527	300名	45 千円
		チケットプレゼント(成通グループ提供) アンデルセン・ミュージカル「ハンスの冒険」 (倉敷公民館・さん太ホール)	23.3.19・20・22・ 23	35	40名	—
	スポーツ	「第28回全国ママさんバスケットボール交歓大会岡山大会」(協賛) (桃太郎アリーナ・岡山市総合文化体育館)	21.8.7 ~ 9	—	—	20 千円
		「第2回倉敷国際少年野球大会」(協賛) (倉敷マスカット球場他)	21.8.22 ~ 23	—	—	100 千円
		「第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」(協賛) (桃太郎スタジアム)	21.9.25 ~ 27	—	—	100 千円
		「マルセン少年バレーボール教室」 (山陽ふれあい公園体育館)	21.10.18	—	85名	370 千円
		「第28回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	21.12.23	—	—	1,050 千円
21 (09)	文 化	「第5回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	21.5.16	—	—	100 千円

事業の記録

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額
21 (09)	文 化	チケットプレゼント 「朝鮮王朝の絵画と日本」 (岡山県立美術館)	21.6.5 ~ 7.12	187 通	200名	166 千円
		プレゼント 絵はがき (写真コンテスト入賞作品)	21.7.25 ~ 29 募集	206 通	150名	152 千円
		「スポーツ・文化の振興」論文募集・入賞者表彰式	21.9.1 ~ 10.31 募集	25 点	7点	254 千円
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「モネと日本 - 睡蓮がつなぐ世界」高階秀爾大原美術館長 「古筆の魅力」島谷弘幸東京国立博物館学芸研究部長	21.9.5 / 9.12	—	—	350 千円
		「2009 マーチング・イン・オカヤマ」(協賛)	21.10.11 ~ 12	—	—	100 千円
		(株) NHK 文化センター 「アンデルセン in ホテルオークラ岡山」(協賛)	22.2.21	—	—	50 千円
		チケットプレゼント 「悠久への帰郷 高橋秀展」 (岡山県立美術館)	22.3.5 ~ 4.4	178	100名	84 千円
20 (08)	ス ポー ツ	「第 31 回岡山県少年剣道練成大会」(協賛) (倉敷市水島緑地福田公園体育館)	20.6.7	—	—	100 千円
		「第 1 回倉敷国際少年野球大会」(協賛) (倉敷マスカット球場他)	20.8.23 ~ 24	—	—	100 千円
		「第 27 回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	20.12.23	—	—	1,050 千円
		「マルセン少年陸上競技教室」開催 講師 山口衛里 (天満屋女子陸上部コーチ) (県陸上競技場・補助グラウンド)	21.3.8	—	255名	320 千円
		「第 24 回全国高等学校新体操選抜大会」(協賛) (桃太郎アリーナ)	21.3.26 ~ 28	—	—	100 千円
		「第 25 回全国高等学校体操選抜大会」(協賛) (桃太郎アリーナ)	21.3.28 ~ 29	—	—	100 千円
		「第 4 回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美小学校体育館)	20.5.10	—	—	100 千円
	文 化	チケットプレゼント 「おかやま国際音楽祭 2008」(成通グループ提供) (岡山城天守閣前広場)	20.10.4	444 通	100名	—
		「岡山学びフェスタ 2008」「マルセンバレーンアート教室」開催 (岡山県生涯学習センター)	20.11.9	—	220名	74 千円
		「おかやま子ども民俗芸能大会」(協賛) (倉敷芸文館)	20.11.8	—	—	100 千円
19 (07)	ス ポー ツ	岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛) 講演 熊倉功夫 伊勢崎 淳	20.11.30 / 12.21	—	—	350 千円
		「マルセン写真コンテスト及び写真展」開催 (天満屋岡山店地下タウン)	21.2.25 ~ 3.2	270 点	36点	300 千円
		「第 30 回岡山県少年剣道練成大会」(協賛) (倉敷市水島緑地福田公園体育館)	19.6.9	—	—	100 千円
		「第 26 回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	19.12.23	—	—	1,050 千円
		「第 56 回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	20.2.11	—	—	100 千円
	文 化	「マルセン少年サッカー教室」開催 ～湯郷 Belle の選手を招いて～ (岡山ドーム)	20.3.8	—	207名	430 千円
		「第 3 回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	19.5.12	—	—	100 千円
		くらしきウィーク 2007 in Kansas City (協賛)	19.7.25 ~ 8.1	—	—	100 千円
		岡山県文化連盟「文化講演会」(協賛) 「書道」「美術」「シンポジウム」	19.9.9・15・23	—	—	350 千円
		第 19 回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア岡山 2007」「生涯学習見本市」へ出展 (桃太郎アリーナ) 「受賞者の写真・高橋大輔選手のコスチューム」等展示	19.11.2 ~ 6	県総合グラウンド入場者 17 万 2 千人		480 千円
18 (06)	ス ポー ツ	「第 25 回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	18.12.23	—	—	1,050 千円
		「第 55 回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	19.2.11	—	—	100 千円
	文 化	「ポスト国体・フラワーロード事業」(協賛)	—	—	—	100 千円
		「第 2 回沙美アートフェスト」(協賛) (沙美小学校体育館 展覧会 倉敷市立美術館)	18.5.13	—	—	100 千円
		「川島 基ビジュアル」開催 (岡山県立美術館ホール)	18.11.3	431 通	200名	400 千円
17 (05)	ス ポー ツ	コミュニティライブラリーの開設 「晴れの国おかやま国体写真展 あの感動をもう一度!」 表彰者紹介コーナー・映像コーナー設置 (岡山会館 1 階)	18.8.4 ~ 19.2.16	—	—	—
		岡山桃太郎アリーナ落成記念 「オリンピックメダリスト体操競技演技会」(協賛)	17.6.5	—	—	210 千円
		「第 24 回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	17.12.23	—	—	1,050 千円
	文 化	「第 54 回備前市えびす駅伝競走大会」(協賛)	18.2.11	—	—	100 千円
		チケットプレゼント 松本和将「ベーターヴェン 3 大協奏曲のタベ」 (岡山シンフォニーホール)	17.4.30	—	100名	300 千円
16 (04)	文 化	チケットプレゼント 岡山デジタルミュージアム開館記念「新シルクロード展」 「あそべる! おもちゃ展」(協賛) (岡山デジタルミュージアム)	17.10.21 ~ 12.18	452 件	100名	90 千円
			18.2.17 ~ 22	—	—	100 千円
	ス ポー ツ	「第 23 回山陽女子ロードレース大会」(協賛)	16.12.23	—	—	1,050 千円
16 (04)	文 化	チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第 26 回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)	17.3.11	710 件	100名	360 千円

() 内数字は西暦年度

令和3年度 収支計算書(損益計算ベース) (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位: 円)

科 目	令和3年度				令和3年度			増 減	備 考
	公益目的事業	管理事業	移用・補正額	予算額	公益目的事業	管理事業	決算額		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	2,000	0	0	2,000	2,000		2,000	0	
定期預金利息	2,000	0	0	2,000	2,000		2,000	0	
受取寄付金	18,174,000	826,000	0	19,000,000	18,174,000	826,000	19,000,000	0	
受取寄付金	18,174,000	826,000	0	19,000,000	18,174,000	826,000	19,000,000	0	
雑収益	103	0	0	103	103	0	103	0	
受取利息	103	0	0	103	103	0	103	0	
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	再開発補償金
経常収益計	18,176,103	826,000	0	19,002,103	18,176,103	826,000	19,002,103	0	
(2) 経常費用									
事業費	19,758,289	0	0	19,758,289	18,368,120		18,368,120	1,390,169	
委員等報酬	124,000			124,000	123,744		123,744	256	
給料手当	4,080,000			4,080,000	3,903,300		3,903,300	176,700	
法定福利費	681,000			681,000	583,961		583,961	97,039	
福利厚生費	16,000			16,000	15,356		15,356	644	
荷造運賃	206,000			206,000	144,788		144,788	61,212	
賃借料	3,209,000			3,209,000	3,208,429		3,208,429	571	
交際接待費	26,000			26,000	14,796		14,796	11,204	
旅費交通費	241,000			241,000	205,288		205,288	35,712	
通信費	223,000			223,000	222,791		222,791	209	
消耗品費	614,000			614,000	586,809		586,809	27,191	
租税公課	0			0	0		0	0	
修繕費	31,000			31,000	30,868		30,868	132	
助成金	2,882,000			2,882,000	2,119,000		2,119,000	763,000	
褒賞金	3,100,000			3,100,000	3,100,000		3,100,000	0	
諸謝金 (イベント事業費)	1,230,000			1,230,000	1,125,500		1,125,500	104,500	
新聞図書費	75,000			75,000	52,560		52,560	22,440	
印刷費	655,000			655,000	646,196		646,196	8,804	
後援費	2,230,000			2,230,000	2,220,000		2,220,000	10,000	
保険料	0			0	0		0	0	
雑費	135,289			135,289	64,734		64,734	70,555	
管理費		3,135,786	0	3,135,786		1,803,092	1,803,092	1,332,694	
役員報酬		454,000		454,000		425,370	425,370	28,630	
顧問報酬		12,000		12,000		0	0	12,000	
退職慰労金		60,000		60,000		60,000	60,000	0	
給料手当		454,000		454,000		433,700	433,700	20,300	
法定福利費		91,000		91,000		64,885	64,885	26,115	
福利厚生費		2,000		2,000		1,707	1,707	293	
荷造運賃		2,000		2,000		0	0	2,000	
賃借料		368,000		368,000		338,489	338,489	29,511	
諸会費		150,000		150,000		79,300	79,300	70,700	
交際接待費		501,000		501,000		232,000	232,000	269,000	
旅費交通費		25,000		25,000		19,728	19,728	5,272	
通信費		59,000		59,000		45,074	45,074	13,926	
消耗品費		33,000		33,000		11,262	11,262	21,738	
新聞図書費		10,000		10,000		4,080	4,080	5,920	
租税公課		5,000		5,000		2,540	2,540	2,460	
修繕費		13,000		13,000		3,430	3,430	9,570	
諸謝金 (イベント事業費)		0		0		0	0	0	
印刷費		11,000		11,000		3,520	3,520	7,480	
雑費		885,786		885,786		78,007	78,007	807,779	
経常費用計	19,758,289	3,135,786	0	22,894,075	18,368,120	1,803,092	20,171,212	2,722,863	未払額再掲
当期経常増減額	△ 1,582,186	△ 2,309,786	0	△ 3,891,972	△ 192,017	△ 977,092	△ 1,169,109		
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
(2) 経常外費用									
当期経常外増減額									
当期一般正味財産増減額	△ 192,017	△ 977,092		△ 1,169,109	△ 192,017	△ 977,092	△ 1,169,109		(仮受金)
一般正味財産期首残高	1,582,186	2,309,786		3,891,972	1,582,186	2,309,786	3,891,972		11,896,400
一般正味財産期末残高	1,390,169	1,332,694		2,722,863	1,390,169	1,332,694	2,722,863		0
II 指定正味財産の部									11,896,400
当期指定正味財産増減額	0	0		0	0	0	0		(開発補償金)
指定正味財産期首残額	100,000,000	0		100,000,000	100,000,000	0	100,000,000		
指定正味財産期末残額	100,000,000	0		100,000,000	100,000,000	0	100,000,000		
III 正味財産期末残高	100,000,000	0		100,000,000	101,390,169	1,332,694	102,722,863		

貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流 動 資 産			
現金預金	16,260,144	5,128,899	11,131,245
前払金	0	0	0
貯蔵品	0	0	0
未収金	59,202	61,601	△ 2,399
仮払金	0	0	0
前払費用	21,222	106,110	△ 84,888
未収消費税		0	0
立替金		0	0
流動資産合計	16,340,568	5,296,610	11,043,958
2 固 定 資 産			
(1)基本財産			
基本財産	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
特定預金	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
ソフトウェア	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	100,000,000	100,000,000	0
資産合計	116,340,568	105,296,610	11,043,958
II 負債の部			
1 流 動 負 債			
未払金・未払費用	1,675,510	1,387,564	287,946
預り金	45,795	17,074	28,721
仮受金	11,896,400	0	11,896,400
未払法人税及び住民税	0	0	0
流動負債合計	13,617,705	1,404,638	12,213,067
2 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	13,617,705	1,404,638	12,213,067
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計 (累計)	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	2,722,863	3,891,972	△ 1,169,109
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	102,722,863	103,891,972	△ 1,169,109
負債及び正味財産合計	116,340,568	105,296,610	11,043,958



令和4年度 マルセン19号

発行日／令和5年3月

発行所／公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団

所在地／〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目2番4号

電話／(086) 800-0077 ファックス／(086) 800-0055

URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>

(本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています)